中京大学広報

建学の精神
学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ

発行 中京大学広報部
〒466-8666
名古屋市昭和区八事本町101-2
TEL（052）835-7111（代）
http://www.chukyo-u.ac.jp

2010年度 入学式

3,300人余の新入生を迎えて行われた入学式

11学部	大学院
3,208人	144人

主な内容

❶入学式／スポーツ科学部を開設へ
❷❸学長式辞・総長祝辞／春の叙勲で小川英次前学長ら受章／役職者
❹新任学部長・研究科長抱負
❺新任教職員／日本芸術院賞
❻米国2大学と交換留学協定／BI教授陣・加藤靖慶冒教授
❼新入生オリエンテーション
❽国際センターNEWS
❾二〇一〇年度大学・学園予算
❿⓫大学祭実行委員会／フットボールクリニック／学生相談室充実
⓬⓭二〇一一年度入試案内
⓮⓯二〇〇九年度大学・学園決算
⓰公開講座（橋本聖子さん）
⓱スポーツ科学部の概要
⓲三重中京大学ニュース
⓳同窓会長に川岸信一さん／ジュニア冒険小説大賞受賞
⓴浅田真央選手世界選手権優勝／スケートー連盟から感謝状

学長、総長・理事長が激励――
力強く充実した学生生活を

本学の二〇一〇年度入学式は、四月一日、名古屋・金山の中京大学文化市民会館オーロラホールで、十一学部三千二百八人と大学院研究科百四十四人の新入生を迎えて挙行された。

式は例年通り午前と午後に行われ、午前十一時からは現代社会学部、法学部、情報理工学部、体育学部と社会学研究科、法学研究科、情報科学研究科、体育学研究科、法務研究科の新入生が、また午後一時からは文学部、国際英語学部、国際教養学部、心理学部、総合政策学部、経済学部、経営学部と文学研究科、国際英語学研究科、心理学研究科、経済学研究科、経営学研究科、ビジネス・イノベーション研究科の新入生が参列し、幾分緊張した面持ちで、北川薫学長の式辞、梅村清弘総長・理事長の祝辞に聴き入った。

北川学長と梅村総長・理事長は、新入生に対し、政治、経済を始めとする社会の各方面で大きな変動が起きていることを説明し、こうした時代には一層、しっかりとした覚悟と自己確立が求められると強調。社会で活躍できる有為な人材となるため、勉強に課外活動に励み、充実した学生生活を送るよう求めた。

新入生の父母ら保護者も多く出席し、式を見守った。

（❷、❸面に北川学長の式辞、梅村総長・理事長の祝辞の大要を掲載）

・スポーツ科学部を開設

4月 スポーツ教育学科
年 競技スポーツ科学科
来3学 スポーツ健康科学科

豊田キャンパス

スポーツ科学 教育・研究の拠点に

本学は体育学部を改組して、一一年四月、豊田キャンパスに「スポーツ科学部」を開設するため、四月三十日、文部科学省に届け出た。

スポーツ科学部の開設は、国民のスポーツに対する期待、ニーズの高まりや多様化に対応し、より質の高い保健体育科教員や課外活動の指導者、スポーツ関連分野の優秀な人材を育成するのが目的である。五十年余の歴史を経た体育学部の教育課程、教員組織、施設設備等を基に、さらに発展、充実させて開設する。

設置学科は、スポーツ教育学科（入学定員百三十人）、競技スポーツ科学科（同二百五十五人）、スポーツ健康科学科（同八十人）の三学科。

体育学部を改組、改革

発達著しいスポーツ科学の教育・競技・健康領域の研究成果を基に、カリキュラムの大幅な見直しにより、スポーツをこれまで以上に科学的に捉えて教育し、スポーツや健康に関する専門的知識や技術、幅広い教養、豊かな人間性を備えた人材を育成する。

質の高い人材を育成

それぞれの学科が育成に力を入れる人材の一例としては、スポーツ教育学科は体育教員や課外活動指導者、競技スポーツ科学科は競技者や実技指導者、スポーツ健康科学科は生涯スポーツ指導者や健康関連施設の運営者などである。また、スポーツ教育学科は高度な教員養成を目指すプログラム、スポーツ健康科学科はアスレチックトレーナーの資格取得を目指すコースなどを新たに設ける。

（⑰面に関連記事を掲載）

2011年度 入試案内

⑫⑬面に掲載

入試日程の詳細、オープンキャンパス（名古屋キャンパス7月17・18日、豊田キャンパス9月19日）の案内、入試相談会の日程などを掲載しています。

2010年度 入学式

自負と大望 胸に秘め

式辞、祝辞を真剣な面持ちで聴く新入生

㊤㊦ 喜びとファイトいっぱいの記念撮影

式辞 大要

学長 北川 薫

内面を磨き外にも関心 自己確立へ努力しよう

皆さんを迎えるにあたり、大切なことをお話します。

それは、大学では、「自分を確立する」という姿勢をしっかりと身に付けてほしい、ということです。自分自身の価値観を確立する、といっても良いでしょう。そのためには、内面を磨くとともに、外の世界に関心を持つ必要があります。自分自身の枠にとどまっていては自分を確立できません。自分がどのような立ち位置にあるのか、どのように進んでいくのか、皆さん自身に絶えず考えていて欲しいのです。社会への関心、自然への関心、世界への関心です。

関心を持てば多くの問いが生まれます。問いを発しなければ答えは得られません。「自分を確立する」とは「自ら問う」ということです。問い、学ぶという自発的な姿勢が皆さんを大きく成長させるでしょう。失敗や挫折もあるに違いありません。悩むことも随分とあるでしょう。しかし、皆さんが志を持って自分を確立しようと努力をする限り、中京大学は必ず皆さんを応援していきます。

次に本学出身者の社会での活躍について触れます。中京大学の卒業生は、昨年三月をもって十万人を超えました。卒業生は教育界、企業・財界、政界、公務員、マスコミ等のあらゆる分野で活躍しています。毎年、国家公務員をはじめ、様々な国家資格試験、地方公務員試験、教員採用試験で中部地方の私学ナンバーワンの合格者を出し、全国の大学からは驚きの目で見られています。

こうした先輩たちは自ら学び、工夫する努力をし、道を切り開いてきました。皆さんは、今、この時から中京大学生としての生活が始まります。様々な抱負や目標を胸に秘めておられることでしょう。語るべき歴史と伝統を持った中京大学で勉学することに誇りを持ち、学部入学生の皆さんは四年後、それぞれが目指す分野で存分に活躍し、多くの先輩の仲間入りができるよう、しっかりと自分を磨いてください。

社会は今、激動の時代を迎えています。世界が新たな価値を模索する真っ只中、といえましょう。ピンチはチャンスでもあります。皆さんの新しい出発をお祝いし、これからの健闘を祈って、式辞とします。

入学おめでとうございます。

好川 純一 BI研究科客員教授

小川 英次前学長

田村 浩一郎 元情報理工学部教授

村橋 泰志 法務研究科教授

春の叙勲

小川 英次前学長が瑞宝重光章

村橋泰志教授、好川純一客員教授は旭日中綬章 田村浩一郎元教授は瑞宝中綬章

二〇一〇年度春の叙勲（四月二十九日発表）で、小川英次前学長が瑞宝重光章、村橋泰志法務研究科教授と好川純一ビジネス・イノベーション研究科客員教授が旭日中綬章、田村浩一郎元情報理工学部教授（本年三月定年退職）が瑞宝中綬章を受章した。

小川前学長（現・梅村学園学術顧問）は名古屋大学経済学部長などを経て経営学部教授に就任。二〇〇〇年―〇七年学長を務めた。中小企業経営研究の第一人者で学会や国、自治体などの審議会要職も多く務めた。

村橋教授は名古屋弁護士会会長や日弁連副会長を歴任。〇五年に法務研究科教授に就任し、民事法総合演習などを担当。法曹養成研究所所長を務めている。

好川客員教授はトヨタ自動車取締役、豊田紡織（現・トヨタ紡織）副社長、社長、会長を歴任。〇七年からBI研究科で「生産戦略」の講義を行っている。

田村元教授は工業技術院電子技術総合研究所所長退任後に本学に転じ、情報処理パラダイム論などを担当。人工知能高等研究所所長を退職まで十年間務めた。

祝辞

大要

総長・理事長
梅村　清弘

何事も真剣に取り組み
新時代に飛翔する力を

皆さんは四年後、二年、三年後を見据え、心に期した強い思いを胸に入学式に臨んでいると思います。わが国は世界不況から脱却できないまま、世界でも例を見ない超高齢化と人口減少が同時に進行する時代に入りました。経済は縮小、衰退し、雇用環境の一層の悪化が懸念されるなか、企業は採用数を絞り込む一方で、外国人学生の採用枠を増やしており、皆さんを取り巻く環境は一段と厳しさを増しそうです。

中京大学は皆さんの思いを形に変える強い大学、隠れた能力を引き出し、高める活力ある大学として、皆さんの「やる気」を全学で支援していきます。

中京大学が高い評価を受けるのは、文系理工系十一学部と大学院九研究科に加えて、ビジネススクール、ロースクールを擁する全国有数の規模よりも、時代のニーズに即した学部、研究科の構成にあります。今の学部の大半は改組改革で誕生し、学生の期待に応えています。

改組しない学部でも教育システムやカリキュラムを大幅に改め、本年度は経営学部が進展するビジネス社会に対応して海外研修などの実践科目を新設、グローバル・リテラシー（国際適応能力）の向上をめざしています。

こうした改革に加え「もう一つの学び場」、公務員講座、各種資格対策講座を開設、学生のキャリアアップに努めています。この成果は各種の試験結果に表れ、昨年度、国家公務員Ⅰ種法文系では三人が合格、四年連続で合格者を出したのは近隣では本学と名古屋大のみとなるなど、公務員試験、各種資格試験の合格者数で国公立大学を含む他大学を圧倒しています。とりわけ合格者の現役合格割合は本学の場合、全国平均を大きく上回って、他大学を驚かせています。

中京大学の建学の理念は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」。教育・研究の場に、学術と並んでスポーツに真剣な取り組みを求めるのは、スポーツには守るべきルールや礼節があり、心身の鍛錬に役立ち、学力、知力は健全な心身があって本物になるからです。本学は何事も真剣に取り組む場、皆さんもこの気風を受け継いでください。

人は苦しさ、厳しさを乗り越えて力がつくもので、厳しい時代は能力を高めるチャンス。ここ「真剣味の殿堂」で、厳しさをテコに逆風をバネに、新時代に飛翔していく大きな力をつけるよう、期待しています。

2010年度　中京大学の役職者

（4月1日現在）

総長・理事長	梅村　清弘
副理事長	梅村　清英
学　長	北川　薫
副学長	安村　仁志
文学部長	福井　佳夫
国際英語学部長	足立　公也
国際教養学部長	照本　祥敬
心理学部長	向井　希宏
現代社会学部長	野口　典子
法学部長	加藤佐千夫
総合政策学部長	佐道　明広
経済学部長	山田　光男
経営学部長	吉田　康英
情報理工学部長	井口　弘和
体育学部長	湯浅　景元
大学院 文学研究科長	森下　純昭
大学院 国際英語学研究科長	吉川　寛
大学院 心理学研究科長	鈴木　睦夫
大学院 社会学研究科長	村上　隆
大学院 法学研究科長	石川一三夫
大学院 経済学研究科長	梅村　清英
大学院 経営学研究科長	中條　秀治
大学院 情報科学研究科長	興水　大和
大学院 体育学研究科長	桜井　伸二
大学院 ビジネス・イノベーション研究科長	寺岡　寛
大学院 法務研究科長	池野　千白
図書館長	棚橋　純一
社会科学研究所長	檜山　幸夫
文化科学研究所長	安藤　隆之
企業研究所長	入江　恭平
体育研究所長	菊池　秀夫
経済研究所長	近藤　健児
人工知能高等研究所長	長谷川純一
法曹養成研究所長	村橋　泰志
臨床心理相談室長	永田　法子
国際センター所長	白井　正敏
情報センター長	鈴木　崇児
エクステンションセンター所長	八尋華那雄
保健センター長	清水　卓也
事務局長	朝子　邦松

本学の学生数

（5月1日現在）

大学院学生

研究科	専攻	修士課程	博士課程	専門職学位課程
文学	日本文学・日本語文化	6	2	—
	英文学	—	1	—
国際英語学	国際英語学	3	—	—
	英米文化学	1	—	—
心理学	実験・応用心理学	4	1	—
	臨床・発達心理学	30	5	—
社会学	社会学	2	3	—
法学	法律学	14	2	—
経済学	経済学	17	0	—
	総合政策学	10	1	—
経営学	経営学	20	6	—
商学	商学	—	3	—
情報科学	情報科学	32	—	—
	認知科学	5	—	—
	メディア科学	20	8	—
	認知科学（通信教育課程）	4	—	—
	情報認知科学	—	10	—
体育学	体育学	29	25	—
ビジネス・イノベーション	ビジネス・イノベーション	31	—	—
法務	法務	—	—	59
合計		228	67	59

学部学生は13,286人

学部学生

学部	学科	1年次	2年次	3年次	4年次	計
文	日本文	100	79	97	88	364
	言語表現	91	91	87	100	369
国際英語	国際英語	97	79	89	98	363
	英米文化	87	99	89	98	373
国際教養	国際教養	111	117	105	—	333
心理	心理	181	162	172	205	720
現代社会	現代社会	311	296	288	292	1,187
社会	社会	—	—	—	43	43
法	法律	363	383	383	433	1,562
総合政策	総合政策	256	237	255	274	1,022
経済	経済	361	351	380	419	1,511
経営	経営	356	345	386	420	1,507
商	商	—	—	—	6	6
情報理工	情報システム工	131	121	150	137	539
	情報メディア工	133	125	128	113	499
	機械情報工	129	123	124	—	376
	情報知能	—	100	81	78	259
情報科	情報科	—	—	—	7	7
	認知科	—	1	0	8	9
	メディア科	—	—	—	6	6
生命システム工	身体システム工	—	1	7	98	106
体育	体育科	415	435	436	427	1,713
	健康科	103	97	105	107	412
合計		3,225	3,242	3,362	3,457	13,286

新任の学部長、研究科長が抱負

新年度のスタートとともに、四学部、四研究科に新しい学部長、研究科長が就任した。任期はいずれも二〇一二年三月までの二年間である。責任者としてそれぞれの学部、研究科の教育、研究を担う新任学部長、研究科長に抱負を語ってもらった。

（経歴は順に最終学歴、学位、専門分野、年齢等）

国際英語学部長
更に英語能力増強へ
足立　公也

国際英語学部は、二〇〇二年に文学部英文学科を改組し、国際英語学科、英米文化学科の二学科で新たなスタートを切った。国際社会における英語の役割はますます大きくなっており、両学科とも基礎となる英語コミュニケーション能力の育成を重視したカリキュラムとなっている。

今後も、学生の英語力の増強と研究の両立を目指して更に鋭意努力する所存である。

東京都立大学大学院人文科学研究科博士後期課程。東京都立大学助手。英語統語論。51歳。

国際教養学部長
自己形成教育を追究
照本　祥敬

完成年度後を見据え、全学共通教育と学部専門教育を二本柱にしたカリキュラムの改革を検討する。共通教育では、「共通（一般）」としての教養と、専門教育の「基礎」としての教養のあり方を整理し、現代に求められる教養教育の内実と構造を明らかにする。学部教育では、言語を窓口に多様な世界と出会い、これとの対話をとおして自己形成を促していく教育のより一層の深化を追究したい。

大阪市立大学大学院文学研究科博士後期課程。修士（教育学）。生活指導論。49歳。

現代社会学部長
自ら行動する力醸成
野口　典子

現代社会に生起する事柄は極めて複雑化してきている。それを読み説き、適切に分析し、自ら決断し、行動していくことが要求されてきている。

本学部は、理論的に考察できる力を、社会の諸問題の分析を通して醸成していくことをねらいとしている。講義はもとより、演習・実習科目の充実を図り、学生一人ひとりの成長を、時間をかけて取り組んでいきたいと考えている。

日本福祉大学大学院社会福祉学研究科博士後期課程。博士（社会福祉学）。社会福祉学・老年学。59歳。

情報理工学部長
時流に即した技術を
井口　弘和

情報理工学部は、五年目の春を迎え、現在、四学科で構成される。産業中心地にある大学として、次代の産業を支える技術者を育成することが使命と捉え、情報技術に強い学部として活動してきた。今後は、情報技術が各産業分野へ浸透することが新価値を創造すると期待されていることから、本学部も時流に即した技術者教育のできる環境となるようにさらなる発展を目指したい。

東京理科大学理工学部物理学科。㈱豊田中央研究所。博士（工学）。感性工学。58歳。

文学研究科長
勉学環境を更に整備
森下　純昭

文学研究科は英文学専攻（博士後期）と文学部系専攻の二専攻である。

従来の国文学専攻を改組した日本文学・日本語文化専攻は、文学部四年次生を大学院に受け入れる「大学院進学奨励学生」の制度も発足させ、順調に院生・学生を受け入れている。これらの改組を実効あるものとすべく、カリキュラムの充実とともに院生の勉学環境の整備充実をさらに図りたい。

九州大学大学院文学研究科博士後期課程。日本文学（平安時代）。65歳。

国際英語学研究科長
指導的な人材を養成
吉川　寛

言語の平等性を主張する国際英語の理念を基礎にした新しい国際的視野を持つ英語教育者・研究者および国際企業人の育成が本研究科の使命である。汎用性を有する高度な英語力、異文化に対する深い理解や柔軟な対応力、また自文化への洞察力と理解力を有するバランス感覚を備えた人材の育成が求められている。時代の要請に応えうる指導的人材の養成を目指して一層の努力を行いたい。

南山大学外国語学部、同大学院言語学修士課程。イリノイ大学言語学修士課程。社会言語学。66歳。

情報科学研究科長
学部と連携、一層発展
輿水　大和

本研究科は、〇六年情報理工学部設置、〇八年機械情報工学科増設、近々の学部改組などに強く連携して、これまでの十五年余の実績（博士学位授与十九名、大学教員九名誕生）を一層発展させ、産業界と学会へのアピール力を高めていきたい。そのために、研究科専攻の呼称とカリキュラムを見直し、大学院進学率向上、大学や企業研究所などへの就職強化などを実施していく所存である。

名古屋大学大学院工学研究科博士後期課程。博士（工学）。JFACE理事。画像処理。62歳。

体育学研究科長
新たな学識の創造へ
桜井　伸二

体育学研究科の母体である体育学部を次年度よりスポーツ科学部に改組する。

スポーツをはじめ人間の身体運動の理解には、自然、人文、社会という幅広い学問分野からの接近が可能であり、また必要である。

体育学研究科にも大きな変革が訪れるこのときを好機と考え、我々こそが学術とスポーツの真剣味の新しい殿堂を担うという気概をもち、広く深くそして新しい学識を創造したい。

東京大学大学院教育学研究科博士後期課程。博士（教育学）。スポーツバイオメカニクス。54歳。

新任の教員11人紹介します

（所属、職位、名前、担当、学歴、学位）　4月1日付

国際教養学部　国際教養学科

教授　ジョン・エスポジート

▼英語▼コロラド大学ボルダー校・博士課程▼博士（教育学）

心理学部　心理学科

助教　近藤　孝司（こんどう・たかし）

▼心理学基礎演習▼中京大学・心理学研究科博士課程▼修士（心理学）

准教授　林　久博（はやし・ひさひろ）

▼ドイツ語▼名古屋大学・文学研究科博士課程▼博士（文学）

講師　髙妻　真次郎（こうづま・しんじろう）

▼地学▼九州大学・理学府博士課程▼博士（理学）

経済学部　経済学科

准教授　内田　俊博（うちだ・としひろ）

▼環境経済学▼ジョージア州立大学・博士課程▼博士（経済学）

経営学部　経営学科

准教授　永石　信（ながいし・まこと）

▼企業論▼南カリフォルニア大学・博士課程▼修士（経済学）

研修後、北川学長、安村副学長、梅村副理事長、朝子事務局長と記念写真に収まる参加者

新任教職員が1泊研修

北川学長らが講師

二〇一〇年度新任教員研修が四月十七、十八の両日、蓼科セミナーハウス（長野県茅野市）で行われた。研修の対象は二〇一〇年四月採用の教員十一人（体育学部四人、国際教養学部三人、心理学部、経済学部、経営学部、法務研究科各一人）と職員三人の計十四人。三年目となる今回は、講師として北川薫学長、安村仁志副学長のほか、事務局から朝子邦松局長ら八人が参加し、二日間にわたり中京大学の歴史と建学の精神、大学組織、FDを始めとする教学の現状と課題などを話した。初日の研修会に続く懇親会では梅村清英副理事長・経済学研究科長らを囲んで賑やかに懇談した。

体育学部　体育科学科

准教授　柿山　哲治（かきやま・てつじ）

▼保健科教育法▼筑波大学・体育学研究科修士課程▼修士（体育科学）

講師　松藤　貴秋（まつふじ・たかあき）

▼バスケットボール▼順天堂大学・スポーツ健康科学研究科修士課程▼修士（スポーツ健康科学）

助教　桑原　康平（くわはら・こうへい）

▼ハンドボール▼筑波大学・体育研究科修士課程▼修士（体育学）

体育学部　健康科学科

教授　近藤　良享（こんどう・よしたか）

▼体育・スポーツ原論▼筑波大学・体育研究科修士課程▼博士（体育科学）

法務研究科

教授　石堂　典秀（いしどう・のりひで）

▼民法▼中京大学・法学研究科博士課程▼法律学修士

新任事務職員

（部署、名前、出身大学）　4月1日付

理事長秘書室

松浦　生朗（まつうら・いくろう）

▼早稲田大学

中京大学附属中京高等学校

熊澤　茂（くまざわ・しげる）

▼愛知教育大学

理事長秘書室

稲熊　美香（いなくま・みか）

▼椙山女学園大学

広報部

武居　達郎（たけい・たつろう）

▼芝浦工業大学

スポーツ支援室

砂田　浩克（すなだ・ひろかつ）

▼中京大学大学院

教学部教務課

眞下　三佳（ましも・みか）

▼中京大学

学生支援室

佐々木　光規（ささき・こうき）

▼中京大学

入試センター

浅井　茉弓（あさい・まゆみ）

▼南山大学

樽本英信名誉教授が「書」で日本芸術院賞受賞

樽本名誉教授

書道家の樽本英信（樹邨）名誉教授（元文学部教授）に五月三十一日、〇九年度日本芸術院賞が授与された。

日本芸術院賞は、芸術上の功績が特に顕著な芸術家に贈られる賞で、今回が六十六回目。

受賞の対象となったのは、中国古典の詩を題材に、持ち前の豪快な筆致で仕上げた日展出品作「富陽妙庭観董雙成故宅發地得丹鼎」。

樽本名誉教授は六〇年商学部卒。六七年文学部国文学科講師となり、七九年教授。〇二年選択定年退職、名誉教授。日展評議員で審査員を務め、〇八年の第四十回日展では文部科学大臣賞を受賞している。日本を代表する「現代書道二十人展」のメンバーとしても活躍する一方、後進の指導に熱心にあたっている。

大池茂樹文学部教授は愛知県の文化新人賞

文学部言語表現学科の大池茂樹（青岑）教授が三月十五日、〇九年度愛知県芸術文化選奨・文化新人賞を獲得した。

大池教授は書道家で行草書などの漢字作品や、空海などの古筆も取り入れた調和体の作品を特徴としている。これまでに日展の漢字部門に二十五回入選している。

舟橋琢磨・情報メ助手が電気学会優秀論文発表賞

情報理工学部情報メディア工学科の舟橋琢磨助手は三月三十一日、〇九年度電気学会産業システム情報化研究会優秀論文発表賞を受賞した。

受賞論文は「作業員の動作および視線計測に基づく技能解析」。

舟橋助手は本学情報科学部、大学院情報科学研究科博士後期課程出身。〇八年助手。博士（情報科学）。

米国2大学（マーシャル大学、ケネソー州立大学）と交換留学の協定を締結

協定校6カ国14校に

本学は交換留学制度を充実させるため、新たに米国のマーシャル大学（ウエストヴァージニア州ハンティントン市）、ケネソー州立大学（ジョージア州アトランタ市）と、「交換留学に関する個別協定」を締結した。本学の個別協定校は、これで十四校（米国六校、オーストラリア・韓国・中国それぞれ二校、イギリス・オランダ各一校）となり、留学先の選択肢が広がった。

マーシャル大とは二〇〇九年十二月十五日に協定を締結し、すでに今年四月から三人を受け入れており、八月から三人を派遣する。ケネソー州立大とは一〇年二月二十六日に締結し、一年度から、毎年三人を上限に留学生の交換を行い、学生交流を図っていく。

マーシャル大は一八三七年にマーシャルアカデミーとして設立され、一九六一年、州立となる。現在は、情報技術、教育、教養、科学、体育、ビジネス、ジャーナリズムなど八学部を擁する総合大学で、一万四千人の学生が学んでいる。

ケネソー州立大は一九六三年に設立された総合大学で、芸術、経営、教育など六学部を擁する。学生数二万人は、ジョージア州で三番目に多い。

小学校教諭の二種免許取得プログラムが始動

国際英語・心理・法学部

国際英語、心理、法の三学部は一〇年度、小学校教諭二種免許状が取得できるプログラムを開始した。〇九年度入学生（二年生）から受講できる。

これまで三学部の課程で取得できる教員免許状は、中学校一種と高等学校一種（心理学部は特別支援学校一種も可）だった。本学は三月二十三日、佛教大学と、小学校教諭二種の免許取得に必要な科目を本学の学生が特別科目等履修生として履修できる協定を結び、取得可能になった。小学校教諭二種免許状が取得できる学部は、〇七年に玉川大学で同プログラムを始めた体育学部を含め、四学部となった。

このプログラム導入で、国際英語、心理、法の学生は、小学校・中学校・高等学校の教員免許状のすべてを卒業までに取得できる。就職先の選択肢が増えるとともに、小中高一貫教育が進む時代に対応した知識・技能を身に付けることができる。

経済学研究科総合政策学専攻

総合政策学部の教育と連携

大学院進学奨励学生制度を導入

4年生に修士科目単位認める

経済学研究科総合政策学専攻は四月より、総合政策学部の学部教育と大学院教育とを連携する仕組みである大学院進学奨励学生制度を導入した。

この制度は、①総合政策学部に在籍する四年生に大学院総合政策学専攻博士前期課程（修士課程）の授業科目の履修を認めて単位を認定し、②本専攻修士課程の入学試験において特別選抜入試の受験資格を与え、③本専攻修士課程への入学後に一定の条件を満たせば、修士（総合政策学）の学位を最短一年間で認める仕組みである。

このため、学部四年次に在籍しながら専門的な大学院修士課程の授業科目を履修でき、修士号の取得期間の短縮も可能になる。飛び入学とは異なり、総合政策学部卒業の学歴も得ることができるなど魅力的な内容となっている。

対象となる学生は、三年生までの全履修科目のGPAが2・8以上である学業優秀者で、四年次に履修できる科目は十六単位を上限とし、本専攻進学時に十単位まで単位を認定する。募集は四月と九月の年二回。

同じような制度は、法学研究科と法学部、国際英語学部、文学研究科と国際英語学部、文学研究科と文学部でも実施している。

ビジネス・イノベーション研究科

BIの教授陣――

私の教育・研究

加藤 靖慶客員教授

（経営戦略など担当）

慶應義塾大学卒業。1973年中小企業診断士取得。1980年㈱総合経営センター設立。前中小企業診断協会本部常任理事兼愛知県支部長。08年経営学部教授。10年大学院専任客員教授。

演習に実地研修積み養成

実力の中小企業診断士を

BI研究科に「中小企業診断士養成課程」があるのをご存知でしょうか。このコースは、国家資格の経営コンサルタント資格として知名度が上がってきた「経産大臣登録中小企業診断士」の二次試験に代わる養成コースです。同時に二年間の履修を通して経営学修士の資格も併せ修得することのできる講座です。

診断士は八月に七科目の第一次試験が行われます。〇九年度は全国で二万人を超える受験申し込みがありました。名古屋会場は千九百七人でした。この試験に本学は三年前から会場提供し協力をしています。十月下旬に行われる第二次試験の会場も供与しています。

私どもの養成課程は、第一次試験の合格者を対象に二年間の講座を開設しており、座学の演習科目と企業診断を実地に行う実習科目に大別されます。国家資格の代行ですから、受講者は厳しい時間管理の下、能力開発に励んでいます。

実習責任者としての私の願いは、本学の修了生がプロの診断士・コンサルタントとして、各企業の経営支援のために持てる能力を発揮し、さすが中京大学大学院の出身者は腕があるという世評を受けることです。二年間で、プロとして立てる力量を何とか身に付けていただくために、まず教員の私どもの方から新たな能力開発を、自らしていく必要があります。

名古屋地区は養成機関が他に二大学、民間団体が一つと競合の厳しいところです。その中でいかに他機関を差別化できる人材を養成するか。ここに私どもの使命があると考えています。

無料の法律相談

7月は3日と17日

本学の法科大学院リーガルエイドセンターは、地域への社会貢献と法曹を目指す学生への教育支援を目的に、〇五年から無料法律相談を行っている。

相談日は毎月第一、第三土曜日の午後一時から四時まで。七月は三、十七日に実施する。会場は法科大学院のある名古屋キャンパス事駅」アネックス出口横。

法科大学院所属教員や教員の所属する法律事務所の弁護士が一件について四十―五十分かけてじっくり相談を受け、助言する。相談実績は八十件以上。

予約制。申し込みは電話（052―835―836）で。詳細は法科大学院ホームページに掲載。

アネックスビル（地下鉄名城線・鶴舞線「八

新入生オリエンテーション

各学部 様々に力入れ 先輩も積極的に支援

新入生の学園生活をサポートするため、各学部が四月に、オリエンテーションやガイダンス、相談会などを開いた。大学生活のスタートには欠かせない行事となっており、在学生もボランティアで手伝っている。文学部日本文学科と経営学部は、恒例となっている学外でのオリエンテーションを行った。

本居宣長の旧宅を訪れた日本文学科の新入生たち

活発に意見を交わす経営学部の新入生たち

松阪市の史跡巡り 文学へ理解深める

日本文学科

日本文学科の新入生約百人は四月十七日、三重県松阪市内にある文学ゆかりの地を訪れた。前日の雨を忘れさせるような快晴の下、松阪城跡、本居宣長記念館、宣長旧宅の「鈴屋」など時代の異なる文学史跡を見学。多気郡明和町にある斎宮歴史博物館にも立ち寄り、伊勢神宮に仕えた斎王の役割などの説明を受けた。

本を読むだけでは得られない、その時代やその土地の雰囲気に触れる絶好の機会となり、文学に対する理解を深めた。在学生スタッフの藤井里保さん（日本文3）は、「今回をきっかけに、たくさんの『つながり』を経験できたのではないか。今後に生かし、大学生活を充実させてほしい」とアドバイスしている。

館山寺で一泊合宿 活発に議論、親睦も

経営学部

経営学部は、四月四、五の両日、静岡県館山寺サゴーロイヤルホテルで一泊合宿のオリエンテーションを行い、新入生約三百五十人が参加した。

吉田康英学部長が、初めに学部の特徴と今年度スタートする新カリキュラムを説明した。上級生たちも、ゼミの紹介や体系的、効果的な履修方法について、経験を交えてアドバイスした。

参加者は、座談会で活発に意見を交換したほか、レクレーションで親睦を深めていた。

在学生スタッフの吉田隆仁さん（経営3）は、「入学直後は誰もが不安で一杯になる。オリエンテーションを通じてその不安を解消し、一日も早く大学生活になじんでほしい」と話している。

加川元通元教授に 名誉教授の称号

本学園は四月一日付で、元心理学部教授の加川元通氏（三月末定年退職）に中京大学名誉教授の称号を授与した。

◆名誉教授の称号授与は九十三人となった。

「ドラゴンズプロジェクト」提案 ドームに女性専用シート採用

現代社会学部

ナゴヤドームでアンケート調査を行う学生たち

現代社会学部の学生が提案した「ナゴヤドームに女性専用シートの設置」が今シーズンから採用され、好評を得ている。

現代社会学部では、社会調査の実地訓練と調査データの分析・解析手法の修得を兼ねた「ドラゴンズプロジェクト」を○六年から実施している。○九年度も専門科目の調査研究法等を履修した二―四年生が、プロ野球ファンの動向や声をアンケート調査し、集計・分析。一月十四日、分析結果とファン獲得のための提案を中日ドラゴンズ球団職員にプレゼンテーションした。

女性専用シートの設置は、女性客が少なく、十分な配慮がなされていないという調査結果を受けて、女性客が足を運びやすい環境作りをと出した施策である。

プレゼンを行った川越あゆみさん（四年）は「提案が採用されてとても嬉しい。根拠を持って考えを伝えることの大切さや楽しさを学んだ」と語った。

株式の売買、会社経営を学ぶ 「国際ビジネス研修Ⅱ」で演習

国際英語学科

国際英語学部国際英語学科は、ワールド・ビジネスに必須な知識（ビジネスエコノミクス、経営財務、企業分析など）を教える専門科目「国際ビジネス研修Ⅱ」を三年生春学期に開講している。

実践的な演習も行い、四月十九日には、東京証券取引所からゲストスピーカーを招き、株式の模擬売買ゲームを行った。受講した羽根田優さんは「『株を学ぶ』ではなく、『株で学ぶ』ことが重要。企業情報をしっかり調べた」と感想を述べた。

株の模擬売買を行う学生たち

二回目の演習は中山雅之国士舘大学准教授を招き、会社経営のシミュレーションを行った。理念や組織を決めて製造会社を設立し、マーケティング、決算書類作成などを行った。加藤賢さんは「経営戦略を練ることの難しさ、種々の課題に直面することを理解した」と語った。

受講した学生たちは、ビジネスパーソンとしての基礎知識を身に付け、今秋から本格的に就職活動に取り組んでいく。

訃報

名誉教授（元法学部教授）
増原　啓司さん
（ますはら・けいし）

四月九日逝去されました。74歳。中京商業高校（現附属中京高校）教諭を経て、66～06年在職。民法。

元教養部教授
今村　良幸さん
（いまむら・よしゆき）

五月九日逝去されました。74歳。中京商業高校（現附属中京高校）教諭を経て、69～97年在職。政治学。

民間オープンフォーラム

総合政策学部3年（現4年）

柳川亨さん　松元大和さん

与那国島発展で発表

特に国境離島である与那国の問題を一年間研究した。フォーラムでは、与那国の自立と発展を目指した「有人国境離島振興法」の制定を提唱。人口減少と高齢化、物価高に悩む与那国島の救済策として、①航路の国道化②産業保護③高校の設立の三つをあげた。

同フォーラムは三月十八日付の産経新聞コラム欄に取り上げられ、柳川さんと松元さんの提唱内容も紹介された。二人は「今後は、より具体的で実現の可能性が高い提案にしていきたい」と意欲的に話している。

産経新聞コラムも紹介

総合政策学部三年（現四年）の柳川亨さんと松元大和さんが三月十二日、財団法人都市経済研究所が主催するオープンフォーラム「国境・離島・海洋から考える新しい邦づくり」という民間会議で、「島の自立と発展に向けて」のテーマで発表（写真）した。

二人は所属する佐道明広教授のゼミで、沖縄問題、新しい視点から考えたい」と話している。

大竹 杏奈さん（情報メ2＝現3）

情報処理学会の奨励賞

〝クーポン配信〟

情報理工学部情報メディア工学科二年（現三年）の大竹杏奈さんが、三月九―十一日に開催された情報処理学会創立五十周年記念全国大会で、学生奨励賞を受賞した。同賞は座長裁量で各学生セッションにつき一人が選ばれた。

大竹さんは「クーポン情報の多メディア配信による地域活性化モデルの提案」のテーマで発表した。店舗経営者らがクーポンをPCや携帯電話などに直接配信することで即時性を実現したワンソース・マルチユースのクーポン配信システムを構築。これにより観光振興を促す地域活性化のモデルとした。

大竹さんは「大学内外の人たちから多くのことを学んだ。残りの学生生活も積極的に取り組んでいきたい」と話している。

賞状を手にする大竹さん

2010年度 交換留学生

米、フィンランドへ13人

文学部から初の派遣学生

本学から海外の大学へ派遣する一〇年度の交換留学生十三人が、昨年十二月の国際交流委員会で決まった。

留学先はアメリカが十二人（ISEP加盟大学八人、個別協定校四人）、フィンランドが一人（ISEP加盟大学）。今回初めて、文学部の学生（一人）が交換留学プログラムに参加する。派遣学生は八月から約一年間、各大学で専門的に学びたい分野を中心に履修する。

国際センターは留学事前研修を四月から七月まで実施。希望者は本学教職員から、留学に対する心構え、必要な知識、語学スキル、留学先での授業対応能力、危機管理の意識向上などの指導を受けている。

派遣が決まった深川真衣さん（言語表現3）は「日本とは異なる環境で、どのような状況にも順応し、困難な問題も乗り越えられる力を身につけたい」、中島佑菜さん（国際英語3）は「留学を通して自分自身大きく成長したい。自分の目で見て、肌で感じ、違う国から見た日本とはどういうものかを

「大きく成長したい」と語る13人の派遣学生

セメスター留学

先輩の体験談を聞く

セメスター留学の帰国報告会を兼ねた説明会が四月二十一日、国際センターラウンジで行われ、留学に関心を持つ学生たち四十人が参加した。（写真）

昨年十二月にセメスター留学を終えてアメリカ、カナダから帰国した五人が、留学を通じて学んだことや自分が成長したことなどをスライドを交えて報告し、学生たちは先輩の体験談を熱心に聞き入っていた。続く懇親会でも、留学についての様々な話で有意義な時間を過ごし、留学への意欲を高めた。

セメスター留学は、英語力アップを目的とした一学期間のプログラムで、留学先は、カナダのトロント大学、トンプソンリバー大学、そしてアメリカのウイスコンシン大学ラクロス校の語学学校である。一人でも多くの学生が参加し、多方面で活躍できる人間に成長することが期待されている。

受け入れ

5カ国20人

日本文化にも親しむ

一〇年度に本学が受け入れた交換留学生は、五カ国から計二十人。内訳は、ISEP加盟大学から十五人（アメリカ八人、フィンランド三人、フランス三人、ドイツ一人）、個別協定大学から五人（アメリカ四人、韓国一人）。

留学生たちは、四月から日本語のほか母国語でも経済学や言語学など専門科目を中心に学んでいる。また、国際センターや学生が主催した名古屋市内史跡めぐりや施設見学などにも参加。日本の文化に触れている。

名古屋城を見学した受け入れ留学生

◆

国際センターは五月から、交換留学生と気軽に会話を楽しめるイベント「留学生と話そう！ Let's 国際交流」を、名古屋・豊田両キャンパスで開催している。学生たちは、昼休みや授業後に、留学生からフィンランド語やフランス語のあいさつを教わったり、日本と外国の文化の違いなどをテーマに意見交換したりしている。このイベントは七月九日までで、国際センターで予約を受け付けている。

2010年度 中京大学の予算

先般の学園評議員会及び理事会におきまして、中京大学の二〇一〇年度予算が決定されましたのでお知らせします。資金収支予算書は**表1**、消費収支予算書は**表2**のとおりです。

資金収支予算書（表1）

収入の部

1、学生生徒等納付金収入
一四五億一千六百万円を計上しました。予算学生数の見込みにより、二〇〇九年度予算に比べ一・九％の減少としました。

2、手数料収入
五億五千二百万円を計上しました。ほとんどが入学検定料です。

3、補助金収入
六億六千八百万円を計上しました。国庫からの補助金が主なものです。

4、資産運用収入
受取利息等の収入で、二億一千九百万円を見込みました。

支出の部

1、人件費支出
七七億七千四百万円を計上しました。二〇〇九年度予算と比べ三・七％増加しています。

2、経費支出
情報教育関連経費、研究費、学生募集経費など、教育研究経費と管理経費で構成されています。あわせて五四億四千一百万円で、二〇〇九年度予算と比べ八・八％の減少です。

3、施設関係支出
名古屋学舎図書館新棟建設などの事業費として二六億五千万円を計上しました。

4、設備関係支出
機器備品費、図書費などの支出として四億八千六百万円を計上しました。

消費収支予算書（表2）

1、帰属収入
一六一億四千五百万円を計上しました。二〇〇九年度予算と比べ二・五％の減少となっています。

2、基本金組入額
組入額として六億四千九百万円を計上しました。

3、消費収入
一五四億九千六百万円で、二〇〇九年度予算と比べ七・七％の増加となっています。

4、消費支出
一五二億七千万円を計上しました。二〇〇九年度予算と比べ〇・一％減少しています。

5、消費収支差額
消費収入から消費支出を差し引いた収支差額は二億二千六百万円の収入超過が見込まれています。

表1　2010年度 中京大学資金収支予算書　（単位：千円）

収入の部 科目	2010年度予算	2009年度予算	支出の部 科目	2010年度予算	2009年度予算
学生生徒等納付金収入	14,515,815	14,796,338	人件費支出	7,773,655	7,493,165
手数料収入	552,215	564,320	教育研究経費支出	4,088,696	4,279,482
寄付金収入	0	7,550	管理経費支出	1,352,669	1,688,425
補助金収入	668,473	677,539	借入金等利息支出	2,700	5,858
資産運用収入	218,500	267,000	借入金等返済支出	255,000	330,000
事業収入	150,000	191,566	施設関係支出	2,649,804	693,750
雑収入	40,000	50,000	設備関係支出	486,103	566,413
前受金収入	2,488,505	2,488,505	資産運用支出	1,580,000	3,380,180
その他の収入	2,527,000	1,917,739	その他の支出	683,312	1,743,605
資金収入調整勘定	△2,490,505	△2,597,480	予備費	50,000	50,000
前年度繰越支払資金	12,885,638	14,331,979	資金支出調整勘定	△493,902	△421,460
			次年度繰越支払資金	13,127,604	12,885,638
収入の部合計	31,555,641	32,695,056	支出の部合計	31,555,641	32,695,056

表2　2010年度 中京大学消費収支予算書　（単位：千円）

消費収入の部 科目	2010年度予算	2009年度予算	消費支出の部 科目	2010年度予算	2009年度予算
学生生徒等納付金	14,515,815	14,796,338	人件費	7,741,416	7,573,715
手数料	552,215	564,320	教育研究経費	5,498,935	5,694,588
寄付金	0	7,550	管理経費	1,570,949	1,901,929
補助金	668,473	677,539	借入金等利息	2,700	5,858
資産運用収入	218,500	267,000	資産処分差額	405,827	55,316
事業収入	150,000	191,566	予備費	50,000	50,000
雑収入	40,000	50,000			
帰属収入合計	16,145,003	16,554,313	消費支出の部合計	15,269,827	15,281,406
基本金組入額合計	△648,779	△2,162,687	当年度消費収入超過額	226,397	△889,780
消費収入の部合計	15,496,224	14,391,626			

表3　2010年度 梅村学園資金収支予算書　（単位：千円）

収入の部 科目	2010年度予算	2009年度予算	支出の部 科目	2010年度予算	2009年度予算
学生生徒等納付金収入	16,260,030	17,210,785	人件費支出	11,076,328	10,601,746
手数料収入	626,075	641,160	教育研究経費支出	4,691,282	4,907,180
寄付金収入	4,915	12,526	管理経費支出	1,608,375	2,025,292
補助金収入	2,099,454	1,906,202	借入金等利息支出	19,682	26,068
資産運用収入	230,660	282,840	借入金等返済支出	528,246	572,156
資産売却収入	4,000	0	施設関係支出	2,833,184	1,210,386
事業収入	150,850	209,686	設備関係支出	533,380	687,771
雑収入	592,065	244,552	資産運用支出	1,580,000	3,380,180
借入金等収入	122,806	258,139	その他の支出	747,671	1,353,027
前受金収入	2,754,535	2,775,790	予備費	83,500	81,500
その他の収入	4,021,209	2,734,491			
資金収入調整勘定	△3,337,740	△3,856,979	資金支出調整勘定	△540,537	△722,288
前年度繰越支払資金	14,161,558	15,865,384	次年度繰越支払資金	14,529,306	14,161,558
収入の部合計	37,690,417	38,284,576	支出の部合計	37,690,417	38,284,576

表4　2010年度 梅村学園消費収支予算書　（単位：千円）

消費収入の部 科目	2010年度予算	2009年度予算	消費支出の部 科目	2010年度予算	2009年度予算
学生生徒等納付金	16,260,030	17,210,785	人件費	10,773,430	10,717,317
手数料	626,075	641,160	教育研究経費	6,496,293	6,709,054
寄付金	6,565	14,631	管理経費	1,842,251	2,257,803
補助金	2,099,454	1,906,202	借入金等利息	19,682	26,068
資産運用収入	230,660	282,840	資産処分差額	693,511	66,977
事業収入	150,850	209,686	予備費	83,500	81,500
雑収入	592,065	165,372			
帰属収入合計	19,965,699	20,430,676	消費支出の部合計	19,908,667	19,858,719
基本金組入額合計	△770,976	△2,696,557	当年度消費収入超過額	△713,944	△2,124,600
消費収入の部合計	19,194,723	17,734,119			

梅村学園の予算

梅村学園の予算も同様に決定されました。その資金収支予算書は**表3**、消費収支予算書は**表4**のとおりです。また、二〇一〇年度の事業計画の概要は次のとおりです。

〈中京大学〉
・国際教養学部、情報理工学部機械情報工学科が開設三年目を迎えます。
・名古屋学舎図書館新棟建設及び四号館（中）の改造、校内整備などの施設整備を行います。

〈中京大学附属中京高等学校〉
・一・四号館耐震補強などの整備工事を行います。

〈三重高等学校〉
・七号館等の解体工事を行います。

（理事　鬼頭俊二）

大学祭

実行委員、テーマ決まる

一〇年度大学祭実行委員会（名古屋キャンパス＝第五十七回、豊田キャンパス＝第十七回）が発足した。実行委員会のメンバーはイベントの企画や協力者の募集、業者との交渉など、大学祭の成功に向けて、準備を開始した。

名古屋キャンパス

テーマ　『縁』

前夜祭　10月29日(金)

本　祭　10月30日(土)・31日(日)

豊田キャンパス

テーマ　『掌』～届けよう!! 熱い想いを掌に込めて～

前夜祭　10月28日(木)

本　祭　10月29日(金)～31日(日)

第17回中京大学とよた祭 実行委員会

実行委員長・中根光規（機械情報3）▽監査・神田歩（現代社会4）▽運営局長・渡邉善貴（現代社会3）▽渉外・豊田誠一（情報知能2）、堀場綾子（現代社会2）▽会計・芝本礼弥（情報シ2）▽総務・伊藤健介（現代社会2）▽ブース・加藤大輝（現代社会2）、都築巧（情報シ2）▽情宣局長・廣野誉粋（情報メ3）▽情宣局統括・澤木亮佑（情報メ3）、吉村徹（現代社会3）▽編集・辻美咲、築山貴紀（現代社会2）▽HP・阿原正弥（情報シ2）▽広報・大村早香、坪谷美咲（現代社会2）▽美術・小池藍（情報メ2）、和佐田貴大（現代社会2）▽企画局長・林洋佑（現代社会3）▽企画局統括・野内大輔（健康4）、久保実里（現代社会3）、秦真一（情報知能3）▽イベント・水谷直人（現代社会2）▽企画・林幸治（現代社会2）▽記念品・山田健斗（現代社会2）▽ステージ・久富真理恵（現代社会2）、山本明弘（情報知能2）

〈敬称略〉

「盛大で皆楽しく」

実行委員長　中根光規（機械情報3）

中京大学とよた祭は今年、十七回目を迎える。今回は過去のどのとよた祭にも負けないくらい盛大で、思い出に残るものにしたいと考えている。

テーマの『掌』には、「楽しい大学祭を創るのは皆の掌から」という気持ちを込めている。掌を通じて熱い想いを伝え、誰もが大学祭を楽しみ、盛り上がれるよう、実行委員一同全力を尽くしていきたい。

「新プログラムで」

実行委員長　柴　茉里香（総合政策4）

地域の方や学生、教職員の方々に支えられ、名古屋キャンパスで行われる中京大学祭は今年、五十七回目を迎える。

今年のテーマは『縁』。十月二十九日の前夜祭から三十一日の後夜祭まで、新しい企画を加えたプログラムを用意して大学祭を盛り上げていく。実行委員会メンバーの大学祭成功にかける想いは強い。

委員一同、精一杯日々の活動に取り組んでいきたい。

第57回中京大学祭 実行委員会

実行委員長・柴茉里香（総合政策4）▽会計・家田訓子（経営3）、辻本典明（法律1）▽渉外・古橋拓也（経済4）、岩澤優作（国際英語1）、小林達矢（経営1）、鬼頭孝昌（経済1）▽渉内・安井信博（経済4）▽企画・舟橋智美（経営3）、西村渉（総合政策2）、青木恵介（経済1）、泉谷佑貴、酒井隆裕（法律1）、財津純輝（国際英語1）、中本和馬、クォン　イジェ（国際教養1）、水谷友美（日本文学1）▽広報・長谷川尚希（国際教養2）、冨田愛理（国際教養1）、目黒秀門（心理1）▽運営・藤田紘平（法律2）、河村彩乃（法律1）、中村光佑、平野拓也（心理1）

〈敬称略〉

研究成果や活動内容

ムービーと実演で披露

文化会豊田系クラブ発表会

文化会は四月二十四日、第十四回豊田系クラブ発表会を豊田キャンパス411教室で開催した。テーマ「TOYOTA IS IT」の下、日頃の研究成果や活動内容を四時間にわたり発表した。

多くの来場者があり、日頃は発表の機会が少ない豊田キャンパス内の学術・芸術系九クラブの部員たちの発表に真剣なまなざしで聞き入り、また楽しんだ。

今年一月に文化会豊田委員会が発足して以来、時には悩み、苦しむこともあったが、お客さんに楽しんでいただくことでスタッフにとっても満足のいく素晴らしい発表会になった。

この団結力と行動力を今後の豊田系クラブの発展、さらには文化会の活発化につなげていきたい。

（豊田委員長・現代社会4　大崎　友貴）

「TOYOTA IS IT」のテーマで発表した9クラブのメンバーら

「体育会会員として自覚を」

フレッシュマンセミナー

体育会は一〇年度フレッシュマンセミナーを五月二十二日、豊田キャンパスで行った。体育会クラブへの入部歓迎と、体育会会員としての自覚を持ってもらうことを目的に毎年実施している。

初めに、中京大学のプロモーションビデオを上映。続いて体育会長の竹内外夫先生が「五十四年の歴史がある体育会の一員として、責任と自覚をもって練習に励んでほしい」と挨拶した。

ゲスト講演も行い、ソウルパラリンピックに出場した岩月冨士雄氏をお招きし、障害者になる前と後の運動能力の変化や、パラリンピックに出場した時のエピソードなどを話していただいた。

体育会の組織説明や幹事会の役員紹介を行い、最後にアイスアリーナを見学して終了した。

（広報担当・法律2　藤村　卓弥）

体育会の組織説明をする幹事会

アメリカンフットボールクリニック

日本代表チームのコーチ、選手ら招き

高校生ら150人を指導

アメリカンフットボール部は三月十四日、高校生選手らを対象に「フットボールクリニック&トレーナークリニック」を豊田キャンパスの梅村フットボールフィールドで開催した。

同クラブは所属する東海学生1部リーグの中で唯一、関西学生リーグに昇格した経験を持つ同リーグの強豪。東海地区のフットボールの普及と活性化、選手の底辺拡大を目的に初めてクリニックを行った。

東邦、南山、浜松開誠館、滋賀学園、滋賀県立長浜の五高校の選手八十人と東海学連の学生トレーナーら総勢百五十人余が参加。同クラブの市川敏伸ヘッドコーチ(第一・二回ワールドカップ日本代表、スポーツ支援室職員)の企画と呼びかけに賛同して指導を買って出た日本代表チームの大橋誠・守備コーチ(オービックシーガルズ)や藤田智・攻撃コーディネーター(富士通フロンティアーズ)、現役の白木周作、渡辺翔、畠山大輝の各選手、元日本代表の水戸部光博氏らの話に聞き入り、実地指導を受けた。

市川ヘッドコーチは「高校生選手に大変好評だった。東海地区のフットボールのレベルアップのためにこれからもクリニックを続けていきたい」と話している。

クリニックに参加した高校生ら(梅村フットボールフィールド)

「文化会講演会」「中京大学金山まつり」

8月7日、初の合同開催

中京大学文化市民会館

文化会講演会は夏の恒例イベント「文化会講演会」と「中京大学金山まつり」を八月七日(土)、中京大学文化市民会館(名古屋市中区)で開催する。

例年別々に実施していた両イベントを、今回は、より盛大になるように合同で行う。文化会執行部や所属クラブは本番に向けて、意欲的に取り組んでいる。

大山さん

文化会講演会

女優・声優の大山のぶ代さん

文化会講演会は学生や市民の皆さんを対象に毎年開催しており、今年で三十八回を数える。

今回は講師に大山のぶ代さんを招き、「大山のぶ代のおもしろ人生アレコレ」のテーマで、長い女優・声優生活を振り返り、経験してきたこと、苦労したこと、学んだことを中心に自身の半生について語ってもらう。

大山さんは、アニメ「ドラえもん」など、ドラマやラジオなどで女優・声優として活躍し、〇四年度放送ウーマン賞大賞を受賞した。

中京大学金山まつり

10クラブが活動の成果披露

中京大学金山まつりは、名古屋市中区金山の商店街と町内会が実施する地域の夏祭りの一環として、文化会が協力して行っている。芸文系、学術系、豊田系の十クラブが日頃の活動の成果を披露する。

▼企画の部「演奏」NPO法人豊明桶狭間太鼓

▼舞台発表の部　混声合唱団、ギターアンサンブル、和学部、吹奏楽団、軽音楽部が演奏を行う。

▼制作展示の部　美術部、漫画研究会、美術クラブ、演劇部☆BEGIN☆THE☆KID、出版部

いずれも一般参加可。入場無料、申込不要。詳細は文化会執行部室(☎052—835—7169)まで。

名古屋・豊田の学生相談室

ともに新装、充実

名古屋、豊田両キャンパスの学生相談室の施設がともに新装、拡充され、四月一日から新しい体制で学生の相談に応じている。

名古屋キャンパスの学生相談室(四号館一階)は、移転した隣接のオープンカレッジ教室跡も併用し、これまでの三倍ほどのスペースに。三室ある明るい面談室は二重サッシなどを入れて防音にも配慮している。豊田キャンパスの学生相談室(一号館一階)も三倍ほどの広さに整備された。

両キャンパスともに学生が相談に訪れやすいように、受付カウンターに常時、相談員の職員を配置し、入り口と出口を別にして学生同士が遭遇しないようにプライバシー保護に気を遣っている。

相談には職員(相談員)のほか、心理カウンセラー(臨床心理士)があたっている。相談日は月—金曜日の週五日、時間は午前九時—午後五時。職員は毎日、心理カウンセラーも常時一人(名古屋は火曜日、豊田は月曜日各二人体制)が待機し、「学業の悩み、精神的な悩みなどを抱えていたら気軽に相談に訪れてほしい」と呼びかけている。

相談室の電話は名古屋キャンパス052—835—7861、豊田キャンパス0565—45—1230。

プライバシーを重視した受付カウンター(上)　面談室(下)

Works Published

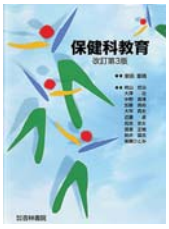
著書紹介

中京大学経済学部附属経済研究所研究叢書第16輯
成長停滞から定常経済へ—持続可能性を失った成長主義を超えて
河宮　信郎編著

米国ドルがリーマン破綻で信用を失墜し、ユーロがギリシャの財政危機発現から急速に弱体化。結果的に円が強くなったが、日本はGDPの二倍を超える国家債務の累積に喘ぐ。金融立国路線(米英)・広域通貨圏(EU)・土建立国(日)等の成長戦略が破綻し、一斉に「金融危機と財政危機の悪循環」に陥った。その原因を解明し、環境調和的な定常経済の必然性を説く。

編著者は名誉教授・前中京大学経済学部付属経済研究所長。同研究所刊。

保健科教育
改訂第3版
家田　重晴編著



本書は元々、「保健科教育法」のテキストとして作成されたものである。

今回の改訂では、これまでの内容を大幅に精選した上で必要な内容を追加するとともに、後半部分で新たに保健教育の各論に関わる内容を扱っている。そして、そのために十人の先生たちが分担執筆しており、旧版よりも質が格段に向上している。

編著者は体育学部教授。杏林書院刊。本体二、一〇〇円。

明日の社会を担う 多様な個性が集結する 11学部17学科

2011年度 入試案内

中京大学を知ろう

名古屋キャンパス
7月17日(土)・18日(日)
全11学部が対象

豊田キャンパス
9月19日(日)
現代社会・情報理工・スポーツ科学部が対象

中京大学の二〇一一年度入学試験の日程が決まった。AO（アドミッション・オフィス）入試が十月に始まり、続いて推薦入試が十一月中旬からスタートする。メーンの一般入試は、前期が二月上旬、後期は三月に実施する。

本学は、新たにスポーツ科学部を来年四月に開設するなど、全十一学部の総合大学として一層充実した教育・研究環境を整えている。入試センターでは、全国各地で始まっている進学相談会で、こうした本学の概況や入試情報などを積極的に紹介している。受験生や高校生にキャンパスを開放する「オープンキャンパス」を開催するほか、受験生向けホームページ「Net Campus」と携帯端末用の「Mobile Campus」でも、情報提供していく。

昨年のオープンキャンパスには、高校生や保護者らが多数訪れた（名古屋キャンパスで）

オープンキャンパス

学部の教育内容を説明 模擬講義、施設見学

受験生・高校生に中京大学を身近に感じてもらう「オープンキャンパス」は、名古屋キャンパスで全十一学部を対象に七月十七、十八日に開催する。豊田キャンパスでは、現代社会学部、情報理工学部、スポーツ科学部を対象に九月十九日に開く。

四年間で何をどう学ぶかを解説する学部説明会、教員によるユニークな内容の模擬講義、受験のポイントを説明する入試説明会は、毎年受験生らの人気を集めている。教職員や現役学生が質問に答える相談コーナーや保護者向けのガイダンスも予定している。

広大な豊田キャンパスでは、普段は公開していない研究施設や、フィギュアスケート専用リンク「アイスアリーナ」などの施設見学ツアーを計画、体育会クラブ活動の見学もできる。開催時間は、両キャンパスとも午前十時から午後四時まで。

HPにアクセスを

入試情報などを掲載 携帯から資料請求OK

受験生向けホームページ「Net Campus」、携帯端末からアクセスする「Mobile Campus」は、入試関係や学部学科の最新情報を掲載している。在学生の就職内定状況や国家資格の合格情報を掲載するほか、イベント情報や在学生が語るキャンパスライフなども紹介しており、中京大学への入学を希望する高校生たちを手助けするツールとなっている。

入試の関係では、二〇一一年度入試の受験情報や過去の入試結果などを掲載している。入学願書や大学案内、昨年度の問題集などの各種資料の請求も、パソコンや携帯電話からできる。

一方、他大学と合同で行う業者企画の進学相談会は、四月から始まっている。北海道から沖縄県まで全国各地で十二月まで開催される。

受験生向けの情報がいっぱいのホームページ

全国各地で進学相談会

地区	開催日			開催地	会場
北海道	8	27	金	札幌	札幌パークホテル
北陸	7	13	火	富山	富山市総合体育館
	9	15	水	金沢	金沢駅もてなしドーム
	9	16	木	福井	フェニックス・プラザ
	9	17	金	富山	オークスカナルパークホテル富山
関東	7	11	日	東京	体育進学センター代々木校 ◎
	7	20	火	東京	日本武道館
	8	5	木	横浜	アートフォーラムあざみ野 ◎
	9	23	木	東京	体育進学センター代々木校 ◎
静岡県	9	11	土	浜松	アクトシティ浜松
	11	6	土	浜松	アクトシティ浜松
	11	7	日	静岡	ツインメッセ静岡
岐阜県	8	28	土	岐阜	じゅうろくプラザ
三重県	9	4	土	四日市	じばさん三重
愛知県	7	10	土	名古屋	名古屋国際会議場
	7	17	土	名古屋	オープンキャンパス in NAGOYA
	7	18	日	名古屋	オープンキャンパス in NAGOYA
	7	24	土	名古屋	愛知県産業労働センター（ウインクあいち）◎
	7	27	火	名古屋	ナゴヤドーム
	8	7	土	名古屋	名古屋国際会議場
	9	5	日	豊橋	名豊ビル（豊橋グランドホテル）
	9	19	日	豊田	オープンキャンパス in TOYOTA
	9	25	土	名古屋	愛知県産業労働センター（ウインクあいち）
	9	26	日	名古屋	愛知県産業労働センター（ウインクあいち）
	12	18	土	名古屋	愛知県産業労働センター（ウインクあいち）
関西	7	24	土	大阪	大阪国際会議場
	7	25	日	大阪	体育進学センター大阪校 ◎
	12	11	土	大阪	体育進学センター大阪校 ◎
中国	7	11	日	広島	広島サンプラザ
九州	9	27	月	福岡	ソラリア西鉄ホテル
沖縄県	7	8	木	那覇	パシフィックホテル沖縄
	7	9	金	那覇	パシフィックホテル沖縄

注:◎はスポーツ科学部受験希望者が対象

多様な受験機会を設定

二〇一一年度の学部入試日程は、試験区分によって多様な受験機会を設けている。メーンとなる一般入試前期日程では、受験生のニーズに合わせ、教科や解答方式、センター試験利用の有無で異なった方式がある。

◆A方式・D方式

一番スタンダードな入試のA方式は、試験科目が三教科の三教科型となっている。成績上位者には奨学金を給付する。スポーツ科学部が対象のD方式は、実技試験不要の二教科型。A方式、D方式ともに、最多で四回受験できる。

◆M2方式・M3方式

全問マークシート方式で出題される。M3方式は三教科型。二教科型のM2方式は、得点の高い科目の配点が二倍に換算される。M2、M3とも複数学科を併願でき、M2、M3間の併願も可能。

◆得意科目重視型センタープラス（CP）方式

センター試験の二教科（必須一教科と高得点一教科、配点は各百点）に、本学独自の一教科（二百点）を加える。国語重視型、英語重視型、数学重視型の三パターンから選択でき、得意教科を生かせる。同じ教科型での併願ができる。

◆センター試験利用入試

センター試験の受験前に出願を締め切る三教科型、センター試験受験後に出願できる四教科型と五教科型がある。いずれも複数学科を併願でき、出願書類とセンター試験の結果で合否判定する。

◆推薦・AO入試

推薦入試は、公募制の一般推薦、一芸一能の特Ⅰ、指定校推薦の特Ⅱ、専門学校特別推薦の特Ⅲの四種類。AO入試は学部により出願資格が違っている。

※入試センターでは、各入試方式の詳細をまとめた資料を本学に請求するよう受験生らに呼びかけている。

地方会場は全国17都市

また、地方試験会場は、全国十七都市に設ける。対象は、一般推薦（試験日十一月二十三日）と一般入試前期日程（二月一日、五～九日）、後期日程（三月七日）。会場は札幌、東京、富山、金沢、福井、松本、静岡、浜松、豊橋、岐阜、四日市、大阪、岡山、広島、松山、福岡、那覇の各都市。このうち、札幌、福井、岡山、松山、那覇は、一部の入試区分だけになる。

入試情報は「Net Campus」で。

2011年度　中京大学 学部入試日程

試験区分		実施学部	出願期間 郵送（消印有効）	出願期間 窓口受付日	出願期間 ネット出願	試験日	合格発表日
AO入試		国際英語（国際英語）・総合政策・情報理工	9月7日(火)～9月15日(水)	9月16日(木)	実施せず	一次 書類審査 二次 10月9日(土)	一次 10月1日(金) 二次 10月22日(金)
AO入試		国際英語（英米文化）	9月7日(火)～9月15日(水)	9月16日(木)	実施せず	一次 書類審査 二次 10月16日(土)	一次 10月1日(金) 二次 10月22日(金)
AO入試		国際教養	10月22日(金)～11月1日(月)	11月2日(火)	実施せず	一次 書類審査 二次 11月13日(土)	一次 11月6日(土) 二次 12月2日(木)
AO入試		スポーツ科	10月22日(金)～11月4日(木)	11月5日(金)	実施せず	12月4日(土)	12月8日(水)
推薦入試	一般	全学部（学力型）（スポーツ教育・競技スポーツ科学科以外）	10月22日(金)～11月11日(木)	11月12日(金)	実施せず	11月23日(祝)	12月2日(木)
推薦入試	一般	スポーツ科（実技型）（スポーツ教育・競技スポーツ科学科）	10月22日(金)～11月11日(木)	11月12日(金)	実施せず	12月5日(日)	12月8日(水)
推薦入試	特Ⅰ	文・現代社会・法・情報理工	10月22日(金)～11月1日(月)	11月2日(火)	実施せず	11月23日(祝)	12月2日(木)
推薦入試	特Ⅰ	総合政策・経済・経営	10月22日(金)～11月1日(月)	11月2日(火)	実施せず	11月13日(土)	12月2日(木)
推薦入試	特Ⅱ	全学部（競技スポーツ科学科以外）	10月22日(金)～11月1日(月)	11月2日(火)	実施せず	11月23日(祝)	12月2日(木)
推薦入試	特Ⅲ	経済・経営	10月22日(金)～11月1日(月)	11月2日(火)	実施せず	11月13日(土)	12月2日(木)
推薦入試	特Ⅲ	情報理工	10月22日(金)～11月1日(月)	11月2日(火)	実施せず	11月23日(祝)	12月2日(木)
一般入試	前期日程	全学部 ※スポーツ科学部はD方式・センタープラス方式を実施	1月7日(金)～1月24日(月)	1月25日(火)	1月7日(金)～1月25日(火)	2月5日(土) A・D方式	2月18日(金)
一般入試	前期日程	全学部 ※スポーツ科学部はD方式・センタープラス方式を実施	1月7日(金)～1月24日(月)	1月25日(火)	1月7日(金)～1月25日(火)	2月6日(日) A・D方式	2月18日(金)
一般入試	前期日程	全学部 ※スポーツ科学部はD方式・センタープラス方式を実施	1月7日(金)～1月24日(月)	1月25日(火)	1月7日(金)～1月25日(火)	2月7日(月) A・D方式	2月18日(金)
一般入試	前期日程	全学部 ※スポーツ科学部はD方式・センタープラス方式を実施	1月7日(金)～1月24日(月)	1月25日(火)	1月7日(金)～1月25日(火)	2月8日(火) A・D方式	2月18日(金)
一般入試	前期日程	全学部 ※スポーツ科学部はD方式・センタープラス方式を実施	1月7日(金)～1月24日(月)	1月25日(火)	1月7日(金)～1月25日(火)	2月9日(水) CP方式	2月18日(金)
一般入試	前期日程	全学部（M2・3方式）※スポーツ科学部はM2方式のみ実施	1月7日(金)～1月14日(金)	1月17日(月)	1月7日(金)～1月17日(月)	2月1日(火)	2月10日(木)
一般入試	後期日程	全学部	2月18日(金)～2月26日(土)	2月28日(月)	2月18日(金)～2月28日(月)	3月7日(月)	3月17日(木)
センター試験利用入試	前期日程 3教科型	全学部	1月7日(金)～1月14日(金)	1月17日(月)	1月7日(金)～1月17日(月)	個別試験は課さない	2月18日(金)
センター試験利用入試	前期日程 4・5教科型	全学部	1月7日(金)～2月1日(火)	2月2日(水)	1月7日(金)～2月2日(水)	個別試験は課さない	2月18日(金)
センター試験利用入試	後期日程	全学部	2月18日(金)～3月9日(水)	3月10日(木)	2月18日(金)～3月10日(木)	個別試験は課さない	3月17日(木)

入試に関する詳細は、入試要項を参照してください。

お問い合わせ先　中京大学入試センター　TEL.052-835-7170・7173（直）

2009年度 中京大学の決算

先般、中京大学の二〇〇九年度決算が確定しました。各計算書については**図表1**及び**図表2**のとおりですが、消費収支計算書の決算数字を中心としてその概要を説明します。

消費収支計算書（図表1）

1. 学生生徒等納付金

一四九億二百万円で前年度とほぼ同じ金額となりました。また、帰属収入に対する構成比率は八八・八%となっています。

構成割合は収入の各科目間の相対的なものでもあり、他の収入科目の増減によっても左右されますが、この構成比率は高い水準が続いています。

なお、二〇〇九年五月一日現在の学生総数は一三、六六八人でした。

2. 手数料

このうち九八・〇%が入学検定料です。検定料収入は五億九千万円、前年度に比べて二千九百万円、四・八%の減少となりました。これは志願者数の動向によるものです。また、帰属収入に対する構成比率は三・六%となっています。

3. 寄付金

六千八百万円で、前年度に比べ二億四千九百万円の減少となりました。帰属収入に対する構成比率は〇・四%となっています。特別寄付金が九百万円、現物寄付金が五千九百万円でした。

4. 補助金

六億八千六百万円、帰属収入に占める割合は四・一%となっています。このうち経常費補助金は六億七千九百万円で前年度に比べて一億円、一七・五%の増加となりました。

この経常費補助金は「私立学校振興助成法」で経常的経費の二分の一以内を助成するとされていますが、本学ではその割合が五・九%であり、一九九一年度以降一〇%を下回っています。

5. 資産運用収入

二億七千五百万円で、対前年度四千五百万円、一四・一%の減少となりました。帰属収入に対する割合は一・六%です。うち、受取利息収入は七五・五%を占めています。

6. 事業収入

受託事業およびオープンカレッジ等受講料の収入です。この収入は二億七百万円、前年度に比べて一千二百万円、五・四%の減少となりました。

7. 帰属収入

収入の合計は一六七億八千五百万円であり、対前年度比二億四千百万円、一・四%の減少となりました。

8. 人件費

七五億七千九百万円で、対前年度比二・一%の減少となりました。帰属収入に対する人件費比率は四五・二%、消費支出に対しては五一・二%の比率となっています。二〇〇九年五月一日現在の専任教員は三二一人、専任職員は一六九人でした。

9. 教育研究経費

五二億九千七百万円、対前年度比〇・三%の減少となりました。また、消費支出における構成比率は三五・八%であり、二〇〇五年度を一〇〇とした場合、その指数は一〇五となります。

このうち減価償却費は一四億一千五百万円、教育研究経費に占める割合は二六・七%でした。

10. 管理経費

一八億五千六百万円、対前年度比一九・八%の増加となりました。その消費支出における構成比率は一二・五%であり、二〇〇五年度を一〇〇とすると二〇〇九年度は一四三となります。

11. 借入金等利息

六百万円、前年度に比べて四百万円の減少となりました。

12. 消費収入・消費支出

帰属収入から基本金組入額二〇億八千八百万円を控除した消費収入は一四六億九千七百万円、対前年度比六・九%の減少となりました。一方、消費支出は一四七億九千百万円、対前年度比〇・七%の減少となりました。消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、基本金組入額が増加したこともあり、九千四百万円の支出超過となりました。

資金収支計算書（図表2）

各科目については消費収支計算書の中で概要を説明していますので、ここでは資金収支計算書の特有な科目のうち主なものについて説明します。

1. 前受金収入

二〇一〇年度入学生の学生生徒等納付金は、春学期分が二〇一〇年三月末日までに納入されるため、二〇〇九年度の収入とします。前年度に比べ三千百万円増加しました。

2. 資金収入調整勘定

期末未収入金と前期末前受金は、現金収受が前年度または翌年度以降行われ、二〇〇九年度には資金の流れが伴わないので控除されます。

3. 施設関係支出

建物・構築物に対する支出で、二〇〇九年度は名古屋学舎四号館改造工事、豊田学舎五号館改造工事等を行いました。

4. 設備関係支出

機器備品・図書等の取得のための支出です。教育研究用機器備品取得のうち主なものは、情報関係機器、体育関係機器備品、教室AV関係機器等です。また、図書の二〇〇九年度末現在の蔵書数は約一三一万八千冊となっています。

5. 資金支出調整勘定

期末未払金と前期末前払金は現金支払が前年度または翌年度以降行われ、二〇〇九年度に資金の流れを伴わないので控除されます。

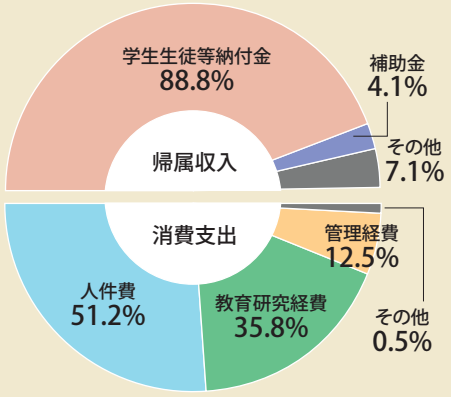
図表1　2009年度 中京大学消費収支計算書　（単位：千円）

消費収入の部 科目	予算額	決算額	消費支出の部 科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金	14,796,338	14,902,006	人件費	7,573,715	7,578,693
手数料	564,320	601,952	教育研究経費	5,694,588	5,297,246
寄付金	7,550	67,842	管理経費	1,901,929	1,855,979
補助金	677,539	685,543	借入金等利息	5,858	5,858
資産運用収入	267,000	274,885	資産処分差額	55,316	53,345
事業収入	191,566	206,697	予備費	50,000	
雑収入	50,000	45,877			
帰属収入合計	16,554,313	16,784,802	消費支出の部合計	15,281,406	14,791,121
基本金組入額合計	△2,162,687	△2,088,109	当年度消費収入超過額	△889,780	△94,428
消費収入の部合計	14,391,626	14,696,693			

図表2　2009年度 中京大学資金収支計算書　（単位：千円）

収入の部 科目	予算額	決算額	支出の部 科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金収入	14,796,338	14,902,006	人件費支出	7,493,165	7,498,603
手数料収入	564,320	601,952	教育研究経費支出	4,279,482	3,877,970
寄付金収入	7,550	9,100	管理経費支出	1,688,425	1,642,475
補助金収入	677,539	685,543	借入金等利息支出	5,858	5,858
資産運用収入	267,000	274,885	借入金等返済支出	330,000	330,000
事業収入	191,566	206,697	施設関係支出	693,750	674,155
雑収入	50,000	45,877	設備関係支出	566,413	555,163
前受金収入	2,488,505	2,626,026	資産運用支出	3,380,180	3,384,976
その他の収入	1,917,739	1,930,075	その他の支出	1,743,605	1,683,989
資金収入調整勘定	△2,597,480	△2,616,857	予備費	50,000	
前年度繰越支払資金	14,331,979	14,331,979	資金支出調整勘定	△421,460	△539,696
			次年度繰越支払資金	12,885,638	13,883,790
収入の部合計	32,695,056	32,997,283	支出の部合計	32,695,056	32,997,283

図表3　構成比率（中京大学）



⑯面に決算の用語説明と関連図表を掲載

2009年度 梅村学園の決算

学園の決算も同様に確定しましたので、その概要を説明します。

二〇〇九年度の消費収支計算書は**図表4**のとおりです。

収入の部では、帰属収入が二〇六億七千万円で、予算を上回ることができました。うち学生生徒等納付金は一七三億二千万円、収入の八三・八％の構成比率となっています。補助金は一九億一千七百万円で、収入に占める割合は九・三％です。また、寄付金は七千八百万円でした。

次に、基本金に組み入れた額は、有形固定資産等の増加に伴う第一号基本金及び第二号基本金で二六億一千五百万円でした。

また、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は一八〇億五千五百万円で、前年度に比べ減少しました。

一方、消費支出の部ですが、総額一九二億六千万円で、予算内での執行となりました。消費支出のうち、人件費は一〇七億五百万円、支出での構成比率は五五・六％となっています。また、教育研究経費は六二億八千二百万円で、前年度に比べ減少しました。支出に占める割合は三二・六％となっています。

消費収入から消費支出を差し引いた結果は一二億四百万円の支出超過となりました。これは中京大学新図書館建設のための資金を先行組入し、第二号基本金が増加したことが大きな要因となっています。

この消費収支計算書の収入、支出の構成比率は**図表7**、**図表8**のとおりです。また、関係比率の推移は**図表9**（⑯面）のとおりです。

次に、資金収支計算書（**図表5**）の科目ですが、施設整備への支出は一一億九千二百万円、機器備品・図書などへの支出は六億七千四百万円でした。借入金は新規借入金及び愛知県授業料軽減分であり、五億七千二百万円の返済も行いました。

貸借対照表の概要は**図表6**のとおりです。資産総額は二〇〇九年度末で九一九億八千四百万円、前年度に比べ一・二％増加しています。一方、負債の総額は九六億八千五百万円で、前年度に比べ三・六％減少、また、基本金と消費収支差額を合わせた額は八二二億円九千九百万円で、前年度に比べ一・七％増加しました。主な貸借対照表の関係比率は**図表10**（⑯面）のとおりですが、いずれも安定した財務構造で推移していることを示しています。

なお、国及び地方公共団体からの補助金の金額及びその推移は**図表11**（⑯面）のとおりです。

中京大学及び梅村学園の消費収支計算書及び資金収支計算書の予算額については、予備費振替後のものです。

（理事　鬼頭俊二）

図表4　2009年度 梅村学園消費収支計算書　（単位：千円）

消費収入の部 科目	予算額	決算額	消費支出の部 科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金	17,210,785	17,320,000	人件費	10,720,673	10,705,291
手数料	641,160	677,005	教育研究経費	6,709,054	6,281,886
寄付金	14,631	77,663	管理経費	2,258,774	2,182,045
補助金	1,906,202	1,917,119	借入金等利息	26,068	25,813
資産運用収入	282,840	291,386	資産処分差額	66,978	64,621
事業収入	209,686	223,893	予備費	77,172	
雑収入	165,372	162,874			
帰属収入合計	20,430,676	20,669,940	消費支出の部合計	19,858,719	19,259,656
基本金組入額合計	△2,696,557	△2,614,632	当年度消費収入超過額	△2,124,600	△1,204,348
消費収入の部合計	17,734,119	18,055,308			

図表5　2009年度 梅村学園資金収支計算書　（単位：千円）

収入の部 科目	予算額	決算額	支出の部 科目	予算額	決算額
学生生徒等納付金収入	17,210,785	17,320,000	人件費支出	10,605,102	10,590,247
手数料収入	641,160	677,005	教育研究経費支出	4,907,180	4,475,686
寄付金収入	12,526	16,569	管理経費支出	2,026,263	1,949,563
補助金収入	1,906,202	1,917,119	借入金等利息支出	26,068	25,814
資産運用収入	282,840	291,386	借入金等返済支出	572,156	572,149
事業収入	209,686	223,893	施設関係支出	1,211,123	1,191,558
雑収入	244,552	242,054	設備関係支出	687,996	673,977
借入金等収入	258,139	257,776	資産運用支出	3,384,980	3,384,976
前受金収入	2,775,790	2,890,671	その他の支出	1,362,123	1,343,463
その他の収入	2,734,491	2,742,974	予備費	62,314	
資金収入調整勘定	△3,856,979	△3,898,660	資金支出調整勘定	△722,287	△835,852
前年度繰越支払資金	15,865,384	15,865,384	次年度繰越支払資金	14,161,558	15,174,590
収入の部合計	38,284,576	38,546,171	支出の部合計	38,284,576	38,546,171

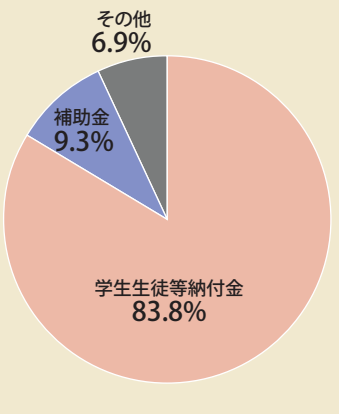
図表6　梅村学園貸借対照表（2010年3月31日）　（単位：千円）

資産の部 科目	金額	負債の部 科目	金額
固定資産	75,819,896	固定負債	4,913,324
有形固定資産	50,227,268	長期借入金	1,506,420
土地	1,348,912	退職給与引当金	3,406,904
建物	33,880,068	流動負債	4,771,337
構築物	4,046,098	短期借入金	528,238
教育研究用機器備品	1,910,998	未払金	820,092
その他の機器備品	129,883	前受金	2,890,671
図書	8,865,026	預り金	532,336
車両	21,283	負債の部合計	9,684,661
建設仮勘定	25,000	**基本金の部**	
その他の固定資産	25,592,628	科目	金額
ソフトウェア	27,966	第1号基本金	70,599,175
電話加入権	5,574	第2号基本金	1,950,000
有価証券	38,100	第3号基本金	70,254
長期貸付金	109,251	第4号基本金	1,348,000
長期前払金	289,584	基本金の部合計	73,967,429
退職給与引当特定資産	3,601,440	**消費収支差額の部**	
減価償却引当特定資産	10,151,425	科目	金額
建設引当特定資産	1,950,000	翌年度繰越消費収入超過額	8,332,156
奨学資金特定資産	2,720,000	消費収支差額の部合計	8,332,156
将来計画準備引当特定資産	3,074,400	科目	金額
第3号基本金引当資産	70,254	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	91,984,246
その他固定資産	3,554,634		
流動資産	16,164,350		
現金預金	15,174,590		
未収入金	833,475		
仮払金	58,932		
前払金	97,353		
資産の部合計	91,984,246		

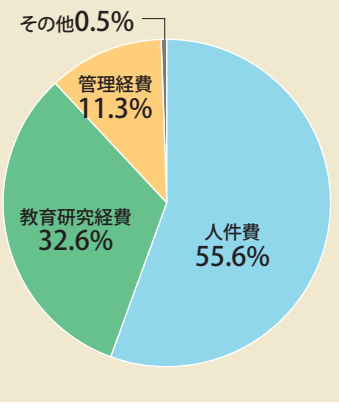
（注）長期性預金はその他固定資産に含む。

⑯面に決算の用語説明と関連図表を掲載

図表7　帰属収入の構成比率



図表8　消費支出の構成比率



決算（⑭・⑮面）の用語説明

「資金収支計算書」

資金収支計算書は、当該会計年度の教育研究活動及びその活動に付随するすべての収入・支出の内容、並びに当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするものです。

「消費収支計算書」

消費収支計算書は、消費収入と消費支出の内容を示すとともに、学校法人の財政の永続的な維持を図るため、消費収支の均衡の有無を明らかにするものです。

「教育研究経費と管理経費」

学校事業に要する経費のうち、①総務・人事・経理、その他これに準ずる業務の経費②教職員の福利厚生のための経費③教育研究活動以外に使用する施設、設備の修繕、維持、保全に要する経費④学生募集のために要する経費⑤補助活動事業のうち食堂、売店のために要する経費等に該当することが明らかな経費が管理経費とされます。

それ以外の経費については、主たる使途に従って教育研究経費か管理経費のいずれかに含めます。光熱水費等のように双方に関連するものは校舎面積等で按分しています。

「基本金」

基本金とは、学校法人が教育・研究等諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入の中から組み入れた金額をいいます。

基本金には第一号基本金から第四号基本金まで四種類のものがあります。

図表9　梅村学園消費収支計算書関係比率　（単位：%）

	評価	算式	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
学生生徒等納付金比率	▲	納付金/帰属収入	82.9	78.0	82.9	83.8
補助金比率	▲	補助金/帰属収入	9.3	8.9	8.7	9.3
人件費比率	▼	人件費/帰属収入	52.7	49.2	51.5	51.8
教育研究経費比率	▲	教育研究経費/帰属収入	29.2	28.0	30.3	30.4
消費収支比率	▼	消費支出/消費収入	96.5	101.4	98.8	106.7

図表10　梅村学園貸借対照表関係比率　（単位：%）

	評価	算式	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
固定比率	▼	固定資産/自己資金	88.9	91.0	91.7	92.1
固定長期適合率	▼	固定資産/自己資金+固定負債	83.4	85.4	86.4	86.9
流動比率	▲	流動資産/流動負債	386.4	337.4	330.9	338.8
総負債比率	▼	総負債/総資産	11.4	11.6	11.0	10.5
自己資金構成比率	▲	自己資金/総資産	88.6	88.4	89.0	89.5

（注）▲高い値が良い　▼低い値が良い　といわれています

図表11　梅村学園補助金の推移　（単位：百万円）

	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
国庫補助金	870	837	712	799
地方公共団体補助金	1,043	1,130	1,114	1,118
計	1,913	1,967	1,826	1,917

浅岡 邦雄准教授の著書「〈著者〉の出版史」日本出版学会賞

浅岡邦雄文学部言語表現学科准教授の著書『〈著者〉の出版史―権利と報酬をめぐる近代』（森話社刊。⑱面の著書欄で紹介）が四月二十四日、第三十一回日本出版学会賞を受賞した。出版を巡る経済的営為―権利や報酬など―の問題を、出版契約書や印税領収書などの資料を駆使して考察した労作。普段取り上げられることの少ない問題に焦点をあてて、島崎藤村や森鴎外、永井荷風ら有名作家の経済事情にも生々しく迫っている。

学園全体で省エネ　各校連携し委員会

年１％以上削減目指す

本学と附属中京高校、松阪地区の各学校が連携して省エネルギーを推進するため、五月十二日、梅村学園省エネルギー委員会（委員長・花村和宏総務担当理事）を発足させた。

本学は既に省エネルギー推進委員会（委員長・朝子邦松事務局長）を組織し、活動を本格化させているが、この日、附属中京高校と松阪地区学校もそれぞれ省エネルギー推進委員会を設立。これら個別の三委員会と学園省エネルギー委員会との第一回全体会議を名古屋キャンパスで開催し、電気・ガス・水道などのエネルギー資源の使用量抑制により積極的に取り組んでいくことを確認。学園全体で今後五年間、毎年一％以上のエネルギー使用量の削減を図っていく活動方針を決めた。

公開講座

公開講座の開催はホームページで順次ご案内しています。

健康・余暇・スポーツシリーズ㉔

スポーツを通じた人材育成

オリンピックメダリスト
橋本　聖子さん

人間形成には一番大切 〝厳しい環境つくる勇気〟

「私の父は、東京オリンピックの開会式で走る聖火ランナーに感動し、私を〝聖子〟と名づけた。私を五輪選手にすることは、父の夢だった。

そして私は、小二の時に観た札幌オリンピックで、スピードスケートに魅せられた」

「オリンピックには七回出場したが、何故そこまで精神力が持続するのかと、よく尋ねられた。

私は北海道の牧場で生まれ育ち、子供の頃から牛や馬の世話で一日が始まる生活をしてきた。両親は、先祖の厳しい開拓時代のことを折りにふれ話してくれた。そういう環境が、私の精神的な土台をしっかり築いたように思う。

また、闘病生活の経験から、運動できることや苦しい練習ができることに私は感謝することができた」

「人間形成において一番大切なのは〝厳しい環境をつくる勇気〟だと思う。けがや病気、スランプに直面した時、それを乗り越えることで何かを感じ取り、人は成長できるのではないだろうか。スポーツはその受け皿になり得ると思う」

「今の日本に足りないのは、子供たちの目の輝き。恵まれすぎた環境ゆえか、何かをしようとする意欲が希薄だ。そんな子供たちには、ぜひスポーツを通じて厳しさを味わってもらいたい」

「心身ともに鍛えぬかれ、人々に夢と希望と感動を与えるのがオリンピック選手のあるべき姿だろう。

そういう優れた選手の育成とともに大切なのは、競技生活を終えた選手を地域社会で活かすこと。彼らの豊かな競技力・人間力は人材育成に貢献するはず。スポーツが生活の中に浸透し、それが文化となり、経済の活性化にもつながるだろう。

そういうことが円滑に循環するためにも、スポーツの振興・発展に努めていきたいと思っている」

（4月21日・名古屋キャンパス431教室）

スポーツ科学部 来年4月開設

可能性広げる 最先端の学び

豊田キャンパス

本学が二〇一一年四月に豊田キャンパスで開設する「スポーツ科学部」は、多くの研究者や教育者、世界レベルの指導者を輩出してきた体育学部を五十二年ぶりに大幅に改組し、日本のスポーツの発展を担う世界的な研究拠点として新たにスタートする。

スポーツアカデミズムの拠点

設置される学科は、「スポーツ教育学科」（入学定員百三十人）、「競技スポーツ科学科」（同二百五十五人）、「スポーツ健康科学科」（同八十人）の三つ。従来の体育学部のカリキュラムを全面的に見直して再編成し、学生が目指す履修モデルを計五モデル設ける。それぞれ必要な知識や理論を体系的に学ぶことができるようにした。

目指す人材像としては、知識と理論に裏打ちされた科学的な素養と、高い自己管理能力や社会適応力を併せ持つ「次代のスポーツパーソン」の育成を掲げている。

スポーツ科学部が設置される豊田キャンパスは、文部科学省からナショナルトレーニングセンターの認定を受けたフィギュアスケート専用のアイスアリーナ、日本水泳連盟公認の五十メートル屋外温水プールをはじめ、国内屈指の競技施設が整っている。また、大学院体育学研究科は国内の私立大学初の博士後期課程を開設し、スポーツ科学研究をリードしてきた。

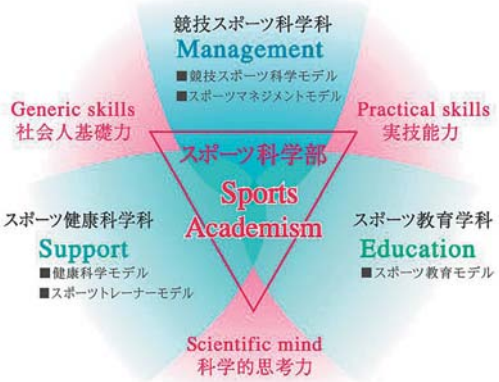
既設の体育学部は、二万三千人に及ぶ有為な人材を社会に送り出し、経済不況で社会環境が厳しい時であっても、安定的な就職状況を確保してきた。新しいスポーツ科学部では、体育学部時代の教育研究体制をさらに充実させることにしており、卒業後には幅広い分野での活躍が見込まれている。

（本文記事❶面に）

詳細は本学ホームページ「Net Campus」を参照ください。

学びの特色

将来像に必要な学びを体系化した
3つの学科と5つの履修モデル



目指す人材像

科学的素養と社会適応力をあわせもつ
次代のスポーツパーソンを育成

スポーツ教育学科

体育教員の養成に力点

スポーツ教育学科は、体育学や健康科学の幅広い知識を身に付け、子どもたちの心身の発達に応じた実技指導力や課外活動指導力を修得する。多彩な実技に精通するため、文部科学省が学習指導要領で定める主要実技科目（十七競技）のすべてが受講できる。

教育実習の成果を最大限にする特別指導を実施し、教員に必要なコミュニケーション力獲得を目的に、ゼミナール、卒業研究を必修とするなど、体育教員養成に力点を置いた授業を展開する。中学校、高校の体育教員免許に加え、小学校教諭二種免許が取得できるプログラムも実施する。

競技スポーツ科学科

アスリート、指導者育成

競技スポーツ科学科は、世界レベルのアスリートと指導者の育成を目指す。履修モデルは、高度なトレーニング科学、コーチング科学を学びつつ、実技に取り組み、競技者として理論を応用できる人材を養成する「競技スポーツ科学科学モデル」と、スポーツ関連施設運営の実践能力を身に付ける「スポーツマネジメントモデル」の二つがある。

両モデルとも、一年次に将来の仕事について考える「スポーツキャリアデザイン」の授業を設置。スポーツマネジメントモデルでは、一年秋学期の海外研修で、アメリカのスポーツビジネスの現場を体験できる。

スポーツ健康科学科

健康づくりのプロ育てる

スポーツ健康科学科は、健康社会の実現に貢献するスポーツ指導のプロを育成する。スポーツと健康科学の専門的な知識を修得し、健康づくり運動などの実践力や指導力を持つ人材を養成する「健康科学モデル」と、健康科学の観点からスポーツ・パフォーマンスを引き出す能力を磨く「スポーツトレーナーモデル」の履修モデルがある。

スポーツトレーナーモデルの履修者は、日本体育協会公認のアスレチックトレーナーの資格取得にも対応するほか、一年秋学期の海外研修で、アメリカのトップレベルのトレーナーから理論や手法を学ぶことができる。

「たゆまず新陳代謝し時代の要請に応える」

体育学部長　湯浅　景元

重力に耐えて体を支えるために、骨が備わっている。骨がもろくなると、重力に負けて体を支えられなくなる。強さを保つために、骨は古い骨を分解し新しい骨をつくり続けている。

骨と同様に、体育学部もその機能を健全に働かせるためには、新陳代謝を怠ることはできない。体育学部はこれまでにも学科の廃止や改変などを通して、それぞれの時代が要請している研究教育を展開してきた。そして、二〇一一年には五十二年の歴史をもつ体育学部を改組して「スポーツ科学部」を開設し、スポーツの新たな可能性を追求すると同時に、スポーツを通して活躍する人材の育成を目指すことになった。

新学部は三つの学科で構成される。体育教師を育成する「スポーツ教育学科」、競技スポーツの指導者を育成する「競技スポーツ科学科」、健康づくりやレクリエーション分野で活躍する人材を育成する「スポーツ健康科学科」である。

新しい学部では、人文科学、社会科学、自然科学のアカデミックな視点から総合的、専門的に研究を進め、その成果を教育に反映することで、新しい時代の要請に応えることになる。

スポーツ科学部においても、新陳代謝をたゆまず実行し、中京大学の理念である「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」を具現できる骨格づくりに努めていく。

三重中京大学ニュース

松阪市活性化シンポ
大学文化会の３人 パネリストで意見

シンポで意見を述べる学生たち（右側）

松阪市中心街の活性化を考える「松阪まちなかシンポジウム」（同市主催）が五月十五日、松阪市産業振興センターで開かれ、尾市一真さん（現代法経３）ら三人の三重中京大学文化会役員がパネリストとして意見を述べた。

同市では〇九年度に三回、空洞化が顕著な松阪駅周辺など市街地のあり方を探る市民意見聴取会を開催。その意見を基に「松阪まちなか再生プラン」を作成した。

シンポジウムは、「計画から実行へ」をテーマに、再生プランの進め方などについて市民の意見を聞き、情報交換するのが目的。三重中京大学の芹澤高斉准教授がコーディネーターを務め、オブザーバーとして山中光茂市長と高畑明弘松阪商工会議所専務理事が加わった。

尾市さんらは、聴講に訪れた市民らに文化会が企画している「学生マップ」や「松阪占い」を、再生プランに活用する案などを披露し、商店街や市民グループの代表らと意見を交換した。

現代法経学部生らが 山中松阪市長と懇談

三重中京大学現代法経学部一年生ら五人が三月十一日、松阪市役所に山中光茂市長を訪ね、キャンパス生活やまちづくりなどを話題にして懇談した。

山中市長は昨年十一月、一年生の授業の特別講師としてキャンパスを訪れ、「幸せな社会づくり」をテーマに講演し、文化会のメンバーらと学生食堂で交流した。そのお礼にと、一年生らが表敬訪問した。

市長室に迎え入れられた学生たちは、自己紹介をしながら、学生生活の様子や松阪市の印象などを伝えた。また、山中市長の講演の感想を記述したレポートも手渡した。山中市長は「みなさんの声は市政運営の参考になります。これからも情報交換を続け、松阪市の将来に向け、一緒にがんばりましょう」と、終始にこやかな表情で話していた。

キャンパス生活の模範 18人に学生活動奨励賞

建学の精神を実践してキャンパス生活の模範となった学生を顕彰する三重中京大学の〇九年度「学生活動奨励賞」の表彰式が三月十七日行われた。

表彰された学生は、盛大な大学祭を成功させて学内活性化に貢献した大学祭実行委員会委員長の猪島悠太さん（現代法経４）ら八人と松阪市の山中光茂市長とまちづくりなどについて意見交換を重ねた文化会委員長の森戸俊介さん（同３）ら九人、地域の子どもたちと交流するボランティア活動に取り組んだ折戸大介さん（同３）の計十八人（学年、役職は当時）。

佐藤昭学長が「みなさんの意欲的な取り組みは、キャンパスを明るくし、地域からも感謝されました」とたたえ、一人ひとりに表彰状と図書券を贈った。この後、猪島さんと森戸さん、折戸さんが「これからも自主的な活動を継続していきたい」と謝辞を述べた。

教育奨励賞は大学20人、短大18人

学業やスポーツ大会で優秀な成績を収めた学生をたたえて教育奨励金を贈る三重中京大学・同短期大学部の〇九年度「教育奨励賞」に、大学二十人（学業十五人、スポーツ五人）と短期大学部十八人（いずれも学業）が選ばれた。大学生には一人十万円、短大生には五万円が贈られた。

学業は修得した科目のGPA（成績評価法）、スポーツは東海大会や全国大会の成績に基づき、教授会下部組織の学生委員会（大学）と教学委員会（短期大学部）が選考した。

大学の授与式は四月、短期大学部は三月の卒業式直後と新学期のガイダンス前に行われ、佐藤昭学長らが表彰状と教育奨励金を贈った。

◆大学院政策科学研究科長に浜谷英博教授

三重中京大学大学院政策科学研究科長に浜谷英博教授が就任した。任期は10年4月から12年3月末までの2年間。

国士舘大学教授を経て97年松阪大学（現・三重中京大学）教授。専門は憲法、比較憲法、防衛法。

◆地域社会研究所長に村林守教授

三重中京大学地域社会研究所長に村林守教授が就任した。任期は10年4月から12年3月末までの2年間。

三重県企画局長、政策部長を経て08年三重中京大学教授。専門は自治体経営論、改革論、自治体経営論。

Works Published

著書紹介

中京大学大学院 ビジネス・イノベーションシリーズ
組織と人材開発
宮川　正裕著

人はどんな時に「働きがい」や「生きがい」を感じるのであろうか。

本書では、こうした「やりがい」に関する研究や人と組織のマネジメント等の基本理論について分かり易く解説し、「人の意欲と行動」に関する経営学や心理学等の参考文献を紐解いての考察結果や、イノベーションを創発する人材開発取り組み事例等について論述している。

著書は、総合政策学部教授。税理経理協会刊。本体二、六〇〇円。

中京大学 企業研究所叢書第17号
指導者論 ―リーダーの条件―
寺岡　寛著

わが国で「指導者」論が正面きって論じられることは多くない。大学でも「指導者」論と冠された講座もさほど多いわけではない。

こうした中にあって、本書は経営学の視点から指導者のあり方とその条件を論じている。事例題材を映画作品にとっているユニークな構成となっている。

著書は経営学部教授。中京大学企業研究所刊。本体二、七〇〇円。

〈著者〉の出版史 ―権利と報酬をめぐる近代
浅岡　邦雄著

著作をめぐる著者と出版者の経済的営為は、第三者が窺い知ることのできぬ不明の領域である。

本書は、この厄介なテーマを、出版契約書、印税領収書、日記及び書簡といった一次資料を駆使して、著作の権利や報酬がどのような状況にあったかを考察したもの。『西国立志編』や兆民の『一年有半』、森鴎外、永井荷風などの契約や印税等が解き明かされる。

著者は文学部准教授。森話社刊。本体二、七〇〇円。

中京大学 文化科学叢書11
学校文法の語らなかった英語構文
足立　公也　都築　雅子他著
中川　直志

英語の「5文型」は英語初心者向けの指針として有益だが、すべての文をそれに当てはめようとすることで見えなくなってしまうものがある。本書は、学校文法で扱われなかったり、軽く触れられる程度で十分な説明が与えられてこなかった現象や構文を取り上げ、英語文法の豊かさを提示している。言語学を学び始めた人や、英語の文法に興味がある人へ。

足立国際英語学部教授と都築国際教養学部教授は編集と執筆、中川国際英語学部准教授は執筆を担当。中京大学文化科学

〈19面7段目へ続く〉

同窓会の新会長に
川岸 信一前副会長（66年体育卒）

川岸会長

中京大学同窓会の一〇年度常任理事会が五月八日、名古屋観光ホテルで開かれ、土方清会長の退任と川岸信一副会長（六六年体育学部卒、中京スポーツ施設代表取締役社長）の新会長（第五代）就任を含む役員人事が報告・了承された。

川岸氏は六十六歳。大学時代は自転車競技部に所属し、インターカレッジ（六二年）の四千m団体追抜や全日本選手権（六三年）の一万mポイントに優勝するなど活躍した。

一層の活性化を
川岸新会長の抱負

「中京大学は想像を遥かに超える勢いで発展し、同窓会も五十二年の歴史を経て十万余人の大組織となりました。国内五十一支部と海外三支部のネットワークを生かして、一層の活性化に努め、『出合い』『ふれあい』を大切にして、同窓会の大いなる発展に繋がるよう尽力いたします」

土方清前会長、今井宏司前参与は顧問に

前会長の土方氏（六九年商学部卒、サークルKサンクス会長）と参与の今井宏司氏（六二年体育学部卒）は顧問に就任。新たに寺川博氏（六二年商学部卒、元梅村学園理事）が参与、高橋繁浩氏（八四年体育学部卒、体育学部教授）が副会長に就任した。

新役員の就任日はいずれも五月九日。

寺川名誉顧問

本学園理事会は四月一日付で、元理事の寺川博氏（三月三十一日付退職）に名誉顧問の称号を授与した。

寺川 博元理事に学園名誉顧問の称号

寺川氏は六二年商学部卒。中京商業高校（現・中京大学附属中京高校）教諭、中京大学商学部講師などを経て、七四年から事務局長を十二年間、八〇年から理事を二十七年余、〇七年十月からは学園顧問を務めるなど要職を歴任し、学園の発展に貢献した。

寺川氏は五月九日付で同窓会参与に就任した。

文学部OG（08年卒）がジュニア冒険小説大賞
「百年の蝶」深月 ともみさん（ペンネーム）

文学部言語表現学科OGの深月ともみさん（〇八年卒）が執筆した作品「百年の蝶」が昨年十二月、第八回ジュニア冒険小説大賞（創作集団プロミネンス・岩崎書店主催）に選ばれた。

深月さんは一昨年も応募し、佳作に選ばれた。在学中もひたすら創作に打ち込んでいたという深月さん。

「当時は失敗の連続。その失敗のひとつひとつが、現在の作品づくりの礎となっているように感じます」と語る。

在学時の指導教員、酒井敏教授は「ゼミではあまり目立たない学生でしたが、卒業研究ではユニークな「学校の怪談」を創作しました。梅檀は双葉より芳し。今後の活躍が楽しみです」と話す。

受賞作品「百年の蝶」は、消えた仲間を救うために、蝶を追う冒険ファンタジー。三月三十一日、岩崎書店から出版された。本体価格千三百円。

（本人の希望によりペンネームで紹介しています）

瀧上賢治選手（08年社会卒）パラリンピック出場

力走する瀧上選手

大学二年の時に交通事故で片足大腿切断の大けがを負った瀧上賢治選手（〇八年社会学部卒・JAF愛知）がバンクーバー・パラリンピック（三月）に出場した。

瀧上選手は、膝付き義足の立位でクロスカントリーに挑戦する世界でただ一人の選手。一月のジャパン・パラリンピックに優勝し、初の挑戦となる本番のパラリンピックでもメダルが期待されたが、降雨などで実力を発揮できず、スプリント（一・二km走）十四位、クラシカル十km二十位にとどまった。

四年後のソチ・パラリンピックでメダルを狙う。

亀井利克・名張市長（体育卒）が三選

亀井名張市長

三重県名張市の亀井利克市長（七四年体育学部卒）が四月四日、三選を果たした。

亀井市長は卒業と同時に名張市に入庁。九一年三重県議会議員に初当選。三期目の〇二年、同市長選に出馬して初当選。徹底した行財政改革や企業誘致などの実績と一層の改革を訴え、接戦の末、元官僚の対立候補を退けた。

亀井市長は本学の建学の精神を基盤とした「清潔・誠実・全力」をモットーに、一層の市民本意の市政推進に意欲を見せている。

5月31日～10月2日「クールビズ」を実施

中京大学は五月三十一日から十月二日まで、名古屋、豊田両キャンパスで、地球温暖化の原因とされる温室効果ガスの排出削減と省エネルギーを目的に「クールビズ」を実施しています。

期間中、教室や事務室などの冷房の設定温度が二十七度を下回らないようにする一方、教職員にノーネクタイ、ノー上着の「夏の軽装」を認めています。

キャンパスを訪れる方のご理解とご協力をお願いいたします。

中京大学　省エネルギー推進委員会

著書紹介 Works Published

倫理学の地図
長滝　祥司他著

倫理は、とかく煙たがれる。他人は身につけるべきだが、自分では背負い込もうとしないのが、倫理である。しかし、倫理学史と応用倫理学の往還を試みる本書の「倫理空間」を歩んでみれば、古今の倫理的思考には、自分自身の生き方を見つめ直すヒントが幾つもあることがわかる。「生きにくい」とされるいまの社会に歩み出そうとする人に、本書を薦めたい。

著者は国際教養学部教授。ナカニシヤ出版刊。本体二、六〇〇円。

中京大学総合政策研究叢書No.4 中国の農民工問題
塚本　隆敏著

本書は農民工問題を中国経済全体の発展と変化の中でとらえている。十章に分け、耕作放棄地や失地問題など、農民にとって生活基盤である土地の状況を始め、生活と健康、労災、住宅問題などの労働環境問題を論じ、留守児童や第二世代の問題など、これまであまり体系的になされなかった問題を論じ、巻末の農民の手記はこの問題を身近に引き寄せる力がある。

著者は総合政策学部教授。創成社刊。

フィギュア　浅田　真央選手

世界選手権を制覇

2度目　日本人で初

2度目の世界選手権優勝を果たした浅田選手

フィギュアスケートの世界選手権（三月二十二―二十八日、イタリア・トリノ）で、浅田真央選手（体育1）が日本選手で史上初となる二度目の世界選手権制覇を成し遂げた。

浅田選手は大会直前まで本学のアイスアリーナで練習を重ね、ショートプログラム二位、フリーではバンクーバー五輪と同様に二回のトリプルアクセルに挑戦、一つは回転不足をとられたが、合計得点で同五輪金メダルの金妍児選手（韓国）を上回り、二季ぶりの優勝を手にした。

同じ女子シングルスの安藤美姫選手（体育4）は四位、男子シングルスの小塚崇彦選手（体育3）は十位だった。

お断り　本ページに登場、紹介する学生の所属学部・学年等は競技、行事開催時点のものです。

浅田、安藤 美姫、小塚 崇彦選手ら 愛知県、名古屋市のスポーツ功労賞

バンクーバー五輪のフィギュアスケートで活躍した浅田真央、安藤美姫、小塚崇彦の三選手らに愛知県や名古屋市からスポーツ功労賞が贈られた。

愛知県の表彰式は四月二十八日に県庁で行われ、神田真秋知事から、また、名古屋市の表彰式は同三日の日本ガイシアリーナ・スケートフェスティバル会場で行われ、河村たかし市長から三人に表彰状とメダルなどが贈られた。

文部科学省のバンクーバー五輪・成績優秀者顕彰、表彰式も五月十日に行われ、浅田選手らメダリストに顕彰状、安藤、小塚両選手ら入賞者に表彰状がそれぞれ贈られた。

橋本会長（左）から感謝状を受ける梅村副理事長

日本スケート連盟――五輪選手の育成で本学園などに感謝状

(財)日本スケート連盟（橋本聖子会長）の〇九年度優秀選手表彰祝賀会が四月二十三日、東京のホテルで開かれ、バンクーバー五輪銀メダルの浅田真央選手（体育2）らメダリストらが表彰された。

また、本学園を含む二十八団体に、「五輪代表選手の育成・支援に多大な尽力があった」として感謝状が贈られた。本学園は梅村清英副理事長が出席し、橋本会長から感謝状を受けた。

本学からは同五輪のフィギュアスケート競技に浅田選手のほか、安藤美姫選手（五位入賞）、小塚崇彦選手（八位入賞）が出場。文部科学省のナショナルトレーニングセンターに指定されたアイスアリーナには、女子八位入賞の鈴木明子選手ら多くの五輪代表・強化選手が練習に訪れた。

森本　良選手（体育4）がサガン鳥栖 特別指定選手

森本選手

サッカー部の森本良選手（体育4）が五月二十五日、日本サッカー協会からJリーグ二部・サガン鳥栖（佐賀県）の特別指定選手に承認された。特別指定選手は大学クラブなどに所属しながらJリーグの試合に出場できる。森本選手は名古屋グランパスユース出身。昨年はユニバーシアード大会の日本代表にも選ばれた。

文科省指定のNTCに　アイスアリーナ

本学のフィギュアスケート専用アイスアリーナが六月一日、ソチ五輪（二〇一四年）に向けた文部科学省のナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点に指定された。指定期間は二〇年度から二三年度の四年間。

アイスアリーナはバンクーバー五輪のNTC強化拠点にも指定されていた。

スポーツの記録

体育会クラブの主な試合結果

国際大会

アジア選手権

清水小百合選手　3千リレー優勝

全国大会

冨田尚弥選手　2百平で3位

スケート部（ショートトラック）

アジア選手権（3月14日、神奈川）

清水小百合選手（経営3）3千mリレー優勝

水泳部

日本選手権（4月13―18日、東京）

冨田尚弥選手（体育3）2百m平泳3位、パンパシフィック代表権獲得

長谷川菜月選手（体育4）50m自由形5位、百m自由形6位、伊藤健太選手（体育2）50m自由形6位、末永京香選手（体育1）4百m個人メドレー7位、小松原彩香選手（体育2）2百m個人メドレー8位

バトントワリング部

全日本選手権（3月20―22日、広島）

花井奏選手（体育2）ショートプログラムSr部門3位、ソロトワール大学部門8位、藤門祥未選手（体育2）ショートプログラムSr部門8位、ソロストラット大学一般部門8位

自転車競技部

全日本学生明治神宮外苑学生クリテリウム大会（2月20日、東京）

和田見里美選手（体育4）18kmクリテリウム2位

ウェイトリフティング部

全日本学生個人選手権・全日本女子学生選手権（5月14―16日、大阪）

福本真莉恵選手（現代社会2）53kg級4位、水野佑哉選手（体育4）62kg級9位

サッカー部

全日本大学選抜九州オーストラリア遠征・大学日韓戦（3月15―28日）選抜選手

森本良選手（体育3）、中田智久選手（体育2）、石原卓選手（体育1）

陸上競技部

静岡国際大会（5月3日、静岡）

市川華菜選手（体育2）2百m5位、服部辰也選手（体育修士1）2百m7位

日本選手権（6月4―6日、香川）

田口博崇選手（体育3）百m3位、杉本隆選手（体育3）同6位、和戸達哉選手（体育2）百十mH7位、安部孝駿選手（体育1）四百mH8位、市川華菜選手（体育2）二百m5位、徳岡沙織選手（体育3）円盤投げ4位

東海地区優勝

体操競技部

西日本学生選手権

梅本拓也選手（体育4）個人総合優勝

東海北陸学生選手権

男女総合優勝

サッカー部

東海大学選手権優勝

ハンドボール部

東海学生春季リーグ

男女優勝

陸上競技部

東海学生選手権

男女総合優勝

和戸達哉選手（体育2）百10mH、久保博規選手（体育3）円盤投げ、市川華菜選手（体育2）2百m・4百m、4×百mR（長崎由佳・小林愛実・小澤茉由・市川華菜の4選手）それぞれ優勝

剣道部

東海学生選手権

村瀬直樹選手（体育4）優勝

関本望妃選手（体育3）優勝

バドミントン部

東海学生選手権

村松将豪選手（体育2）優勝

空手道部

東海学生選手権

団体組手男女優勝

寺澤慶子選手（体育4）個人形優勝、大野仁嗣選手（体育3）個人組手優勝

アーチェリー部

東海学生選手権

小池麻実選手（体育3）優勝

本紙は森林循環紙を使用しています。